

第 7 回

新市まちづくり計画検討小委員会会議録

と き 平成 1 6 年 6 月 2 4 日

ところ 西脇市生涯学習まちづくりセンター

西脇市・黒田庄町合併協議会

第7回新市まちづくり計画検討小委員会会議次第

日時：平成16年6月24日（木）

時間：午後6時30分～

場所：西脇市生涯学習まちづくりセンター

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 会議録署名委員の指名
- 4 議事
 - (1) 新市のまちづくりの理念と将来像
 - (2) 新市の主要施策について
 - (3) 公共的施設の統合整備と適正配置について
- 5 次回の議題等について（予定）
 - (1) 計画素案について
- 6 その他
 - (1) 次回の開催日程
日時 平成16年7月 日（ ）
場所 西脇市生涯学習まちづくりセンター
 - (2) その他
- 7 閉会

出席名簿

【委員】

氏名	備考
長谷川 俊 雄	委員長
小 林 茂 夫	副委員長
浅 田 康 子	
岩 崎 貞 典	
宮 崎 正 則	
東 野 一 彦	
西 山 孝 彦	

【事務局等】

事務局長補佐	藤 原 俊 三
事務局員	足 立 英 則
”	板 場 逸 史
コンサルタント	前 田 直 之

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
長谷川委員長	<p style="text-align: center;">（開 会 午 後 6 時 3 5 分）</p> <p>本日の会議を、ただ今より始めさせていただきたいと思います。先だっては大きな台風の進路に入っておりまして、非常に心配しましたけども、西脇市のあじさいまつりにも多くの方がお見えになったようですし、きょうの新聞では、田空も50万人お客さんを迎えたというふうに出ておりましたので、非常に喜ばしいことかと思えます。</p> <p>それでは、早速議事に入らせていただきます。</p> <p>本日の会議録署名委員ですけども、西脇市の浅田委員さんをお願いしたいと思っておりますので、よろしくをお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、まず、議事に入らせていただきますけども、本日の小委員会では、事前に配付されています資料の1枚物「新市まちづくり計画の構成内容と検討時期」とタイトルのあります資料をごらんいただきたいと思います。</p> <p>計画素案の第3章、新市の将来像と基本理念の部分と、第4章、第5章につきまして検討していきます。</p> <p>それでは、会議次第の1番目、新市のまちづくりの理念と将来像についてですが、別冊の資料1ページを見ていただきたいと思います。</p> <p>前回の小委員会で、将来像にサブタイトルをつけることを決定いたしましたけども、これを受けまして、まちづくりの理念について、一部表現を修正する案とともに、将来像の思いや意味を説明する文章についても検討していきたいと思っております。</p> <p>それでは、この件について、コンサルタント及び事務局の方より説明していただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。</p>
コンサルタント前田氏	<p>では、よろしくお願ひします。</p> <p>では、まず、新市のまちづくりの理念の方から、一部修正を加えましたので、そちらの方をご確認いただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
長谷川委員長	<p>す。</p> <p>資料の1ページの方に、まちづくりの理念、書いてございます。実は、ほとんど内容については変わっておりませんので、どこが変わったのかと思われる方もいらっしゃるかと思うんですけども、2番目の柱のところですね、「豊かな自然と共生しながら安心して暮らせるまちを目指します」と。これ、以前はどうだったかという、「安心して暮らせる共生のまちを目指します」。こちら、将来像の方がですね、その次のページ、2ページの方に、みなさんに決めていただいた「いのちいきいき 自然きらきら 共生のまち西脇」というフレーズがあるんですけども、この中では、「自然きらきら」と自然をかなり強くうたっているにもかかわらず、2番目の柱のところですね、従来は「安心して暮らせる共生のまち」ということで、ここで自然環境と共生していきましょうという内容になっていたんですけども、もっと自然の部分を全部出した方がいいんじゃないかと。フレーズとして、言葉として出した方がいいんじゃないかということで検討した結果、タイトルに「豊かな自然と共生しながら安心して暮らせるまち」という、タイトルをもう少し加えさせていただいたのと、その中の文章ですね、こちらの文章が、実は、従来は、「自然環境の保全と循環型社会の構築を進めます」という文章が入っていたんですけども、文章の中の2段目、2文章目、下の方に入っていたんですね。それを一番最初に持ってきて、全面に出して、その後に人と人とのつながりとか思いやりといったものを持ってきて、自然を全面に出そうということで、この内容はほぼ変わっておりませんで、文章を組み変えた構成になっております。そういった変更をさせていただいたので、実際、大筋というか、大きな内容については変更がないということをご確認いただいて、これで修正をさせていただくことをご了承いただきたいなと思っております。</p> <p>そしたら、事務局の方、何かございますか。</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
事務局長補佐	<p>そしたら、それにつきましては、また後ほど、次のところとあわせてご意見等をお聞きしたいというふうに思います。</p> <p>それでは、続きまして、新市の将来像について説明をさせていただきます。</p> <p>配付いたしました資料 2 ページをごらんいただきたいと思ます。</p> <p>将来像は、ご承知のとおり、4 月開催の第 6 回協議会で、メインタイトルが決まりました。また、5 月開催の第 6 回検討小委員会でサブタイトルが決定をいたしました。これを受けて、将来像の意味や思いを説明しましたのがこの文章でございます。</p> <p>まず、両市町の歴史、また、社会潮流などから、市町村の役割の変化など、両市町が合併に至る前提を、長くなっておりますが書いております。そして、上から 9 行目の中ごろになるんですけども、「これらの変革にどのように対応し、持続可能なまちづくりをいかに進めていくことができるか」ということと、その下の行になりますけども、「これまで培ってきたまちの特性や地域資源を存分に生かしながら、急速に変革する時代を切り開き、未来へ躍進するまちづくり」を目指して合併することを述べております。</p> <p>そして、新しい西脇市のまちづくりを進めていく上での根本的な考え方であり三つのまちづくりの理念を踏まえ、将来像を制定することも述べております。</p> <p>また、将来像の囲みの下に書いておりますのは、この将来像の示す意味や思いでございます。全体的な意味としまして、そのすぐ下にございますとおり、「私たちの暮らしを支え、まちを築く礎となった豊かな自然との調和を図り、かつてそうであったように、緩やかな連帯感と暖かな安心感に包まれた地域社会の中で、だれもが生き生きと活動し、その豊かさが実感できる、人と自然、人と人が共生する、そんなまちを未来に向かって創造していくことを力強く宣言するものです」というふうに表現をしております。</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
長谷川委員長	<p>また、その後に、将来像に含まれるフレーズごとに、それぞれの意味や思いを説明しております。特に「いのちいきいき」の部分では、小委員会でも協議をしてきました経過を踏まえまして、西脇市のイメージである「日本のへそ」から連想した思いを含んでいるということを強調しております。</p> <p>そして、最後の段落になりますけども、将来像の示すような新しいまちを目指し、合併してよかったと言えるようなまちづくりを進めていくために、市民と行政が手を携えて、さまざまな取り組みを展開していくことをこの中で宣言し、締めくくっております。</p> <p>以上、簡単ですけども、事務局の方からの説明でございます。ありがとうございました。</p> <p>ただいま、1ページ目、コンサルタントさんと事務局の方からの説明をいただきました。</p>
宮崎委員	<p>個人的には、非常に言いたいことというか思いを表現していただいたと思いますけども、皆様方からご意見、ご質問がありましたら、お受けしたいと思います。</p>
長谷川委員長	<p>すみません、ちょっとよろしいですか。</p> <p>どうぞ。</p>
宮崎委員	<p>資料1ページ目の、理念の3行目なんですが、これで「市民主導による参画と協働のまちを目指します」の下の説明というか附属文のところ、2行目のところにかっこ書きで、「市民力を高め、自立したコミュニティーの形成に向けたまちづくりを進めます」とあるんですけども、一個人、一市民に対しての協働と参画というのは、十二分に将来像の説明の方で書いていますので、この市民力の、もう少し何か言葉を変えたらなと個人的には思うんですけどね。</p> <p>この市民力のところで、一個人に向けてしまうんじゃないしに、地区制の構築とか、自治会の構築が一番必要不可欠やと思うんで</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
コンサルタント前田氏	<p>すね。ですから、一個人の力を高めという感じやなしに、地域力とか地区の構築とか、そういう文言になった方が、個人的にはいいんじゃないかなと思うんですが。</p> <p>今のご意見ですけども。こちら、表現をする際に、市民力というのは、市民というのは一人を指しているかどうかというところが、特に、こちらの意図としては、一人の市民、ちょっとそうとられてしまうかもしれないんですけども、一人を指している訳じゃなくて、西脇市に住んでいらっしゃる皆さんという意味の市民の力ということで表現をさせていただきました。市民力という言葉も勝手につくったというか、皆さんのそういったまちづくりに対する力ですね、思いが構築されたもの。そういったものを市民力という言葉で表現させていただいているということですね。特に一人に絞ったことを言おうとしているということではないので、その辺、表現を変えた方がよければ変えてもいいかなと思うんですけども、こちらの意図としては、一人一人というか、やはり皆さんの力というのでつくっています。</p>
長谷川委員長 宮崎委員	<p>宮崎委員、いかがですか。</p> <p>今までの、サブタイトルとかいろんな市町村のやつ見よったときも、「私たちが主役」とか「住民主導の」とか、やっぱりそういうのがものすごくあるんですね。これ、私個人としては、どうしても地域力を高めんことには、この合併問題、今後の行財政改革にしても成し遂げられないと思うんですね。ですから、地域性というか、地域力を合わせていうニュアンスの方がピンとくるんかいなというふうに思ってるんですけど。</p>
コンサルタント前田氏	<p>恐らく、思っているところは一緒だと思いますので、市民を地域に変えるか、地域の方がよければ、ここは地域力になるというのも全然いいと思いますので、それは全然問題はないと思うんですけども。</p>
事務局員	<p>初めの方にですね、協議で、これ行政内部でもましてもらった</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>経過あるんですけども、初めは住民力という言葉でなっておったと思うんです。そこで、まちづくり担当の方から、今、コンサルさんの言われたとおり、定義で住民と市民の違いがあるんですけども、住民はただ単に住んでいる者、市民というのは、まちづくりにあらゆる形で参画していこうという意味を持っているのが市民で、その言葉の問題になるんですけど、市民というよりは、単なる個人というものを指すものではなくて、組織とか、その後にも書いてあるんですけど、多様な主体という言葉で言うてあるんですけども、これ包括して市民という定義になるんで、そのときは住民力から、たしか地域力という言葉も出たと思うんですけども、その中で、一番ふさわしいのが市民力じゃないだろうかということによってそういうことになったという経緯があることを報告させていただきたいと思います。</p>
宮崎委員	<p>大きな問題ではありませんので、まちづくりに盛り込んでいただいとるんでしたら理解できます。</p>
長谷川委員長	<p>そういう形で、市民力という表現、これでいかしていただきましょか。イコール市民それぞれということ踏まえて。</p>
事務局長補佐	<p>ほかにはございませんか。</p> <p>新市の将来像の2ページのところなんですけれども、ちょっと検討方お願いしたいと思う点がございます。</p> <p>こういう形で提案させていただいとるわけなんですけれども、上から3行目から10行目ぐらいまでになると思うんですけども、今までに、合併の背景とかそういうところで、こういった表現は既に一応はさせていただいております。それで、ひょっとしたらこの部分がダブってしても、文字がいいですか、全体的に長くなり過ぎとんのかなというふうなちょっと意見もございましたりしまして、このあたりのところをもっと省略したらええんかなというような思いもするんですけども、ちょっと意見を聞かせていただけたらと思うんですけど。</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
長谷川委員長	今、事務局からこういうお尋ねがございましたけれども、それぞれ何かございますか。
東野委員	将来像の本旨という何からしましたら、別にダブってるとかそういう感覚はしませんけどね。
長谷川委員長	どうですか。
浅田委員	私は、行政好みの言葉がきれいに並べてあるなという印象なんですけれども、こういうので説明がいき過ぎということはないと思いますし、足らずよりは、やっぱりこれぐらいの言葉でまとめている方が理解がしやすいんじゃないかなと。とにかくきれいにまとめているなという、言葉としても、という印象がありますけれども、何とか行政好みの仕上がりかなとは思って、そういう感じはしてます。
宮崎委員	若干ここがわかりづらいかというのは上から4行目なんですけどね、「そして」からの分なんで、「経済社会が先導する画一的な豊かさが達成され」という表現があるんですけども、これどういうふうに認識しとるのか。生活水準が上がって、だれもがそういう状態におるとは限りませんので、どんなもんなのかなと、どういう意味合いかなと思うんですけど。
事務局員	もともとはですね、これ、いろいろな表現があるやつで、「物の豊かさ」という表現だったんですけどね、これ、内容、事務局で検討した部分が大きいんですけども、どの表現がいいやろとか、いろいろな、初め「画一的な物の豊かさ」とかあったんですけど、ちょっとということになって、「物の豊かさ」という表現の方が一般的によくあるから、「社会が先導する」というかたい言葉の後である程度「画一的な豊かさ」という表現はわからないかなということでもちよっとしたんですけども。
宮崎委員	全体的にはやっぱり豊かになっとるし、生活水準が上がってるのも確かやと思うんですけども、その反面、いろんなものもあるのが事実やと思いますし。「達成され」というのは何か。

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
事務局員	この分、ちょっと検討させていただきます。
小林委員	これ縮められたらええんじゃないんですか。これやったらね、「経済社会が先導する本格的な成熟社会が到来する。」「達成され」「到来する」というのは、ちょっと重複しているような感じはありますけどね。まあ全体としてはいいと思いますけど。
長谷川委員長	全体的に、今のお話の中から、これで十分いいという考え方の中で、ちょっと重複してるかなという意見ですけども、この辺りは、副委員長おっしゃいましたように多少省くというか、簡略というか。
事務局長補佐	そしたら、今の状態を基本に、今宮崎委員さんの方からちょっと意見がございました、このあたりの文言、もうちょっと検討させてもらうということによろしいですか。
長谷川委員長	<p>そういうことで、じゃあお願いします。</p> <p>ほかにはお気づきの点、どこかございませんか。</p> <p>それでは、タイトルとしてはこれでいいというそんな雰囲気でするので確定して、次に、会議次第の2番にいかせてもらいます。</p> <p>新市の主要施策について、事務局並びにコンサルタントの方より説明いただきます。</p> <p>資料でいいますと3ページからになりますけども、前回の小委員会でもまちづくりの基本方針について協議いたしましたが、今回、施策の体系、それから、基本方針を受けて実施していく新市の主要施策について提示されていますので、協議していきたいと思います。</p> <p>この部分につきましては内容が多いですので、まず、施策の体系を、その後、引き続いて、基本方針ごとに説明していただき、協議していきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
事務局長補佐	それでは、失礼いたします。新市の主要施策について説明をさせていただきます。資料は3ページをごらんいただきたいと思ひ

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
事務局員	<p>ます。</p> <p>新市の施策の体系をイラストであらわしたものでございます。この部分につきましては、これまでの小委員会でも協議をしていただきました内容を取りまとめたものでございます。</p> <p>七つの新市の主要課題とそれに対応していくため、また、まちづくりを進めていく三つのまちづくりの理念を定めております。そして、この理念を支え、新しく誕生する西脇市の目指すべき姿として将来像を制定しております。</p> <p>次のページをごらんいただきたいと思います。</p> <p>まちづくりの基本方針を、まちづくりの分野ごとに、「ともに支えあい、みんなが笑顔で安心して暮らせるまちづくり」などの五つの方針を定めております。そして、それぞれの方針ごとに、また、さらに細かく分けて、新市でどういった考え方で、また、どういった施策をしていくのかというふうな、ページの一番右の方に書いております「施策の柱」というところになります。</p> <p>それから、五つのまちづくりの基本方針を効果的に進めていくために、参画と協働、また、行財政運営のあり方については、方針の土台となります「基本方針を支える推進方策」というふうに位置づけをしております。これについても、さらに細かく分けて施策展開をしていく部分を「施策の柱」として構成をしております。</p> <p>以上、施策の体系について説明をさせていただきました。</p> <p>5ページからは、施策の内容について個々に掲載をしております。ここの部分につきましては、担当の方から説明をさせていただきますので、よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>それでは、引き続き、説明をさせていただきますので、資料の5ページをごらんください。</p> <p>4の2、新市の施策についてということで、方針ごとに説明させていただきます。</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>若干、その前に、掲載に当たっての、ここで掲載しておりますことについて、留意事項等説明します。</p> <p>この4章の部分が計画の根幹を成す部分であり、新市のまちづくりの方向性や施策を分野ごとに柱として掲載しています。この施策の柱の説明をこの5ページから順に行っていきませんが、実施する主要事業については、方針ごとに表形式にしてまとめています。</p> <p>ここの、「ともに支えあい、みんなが笑顔で安心して暮らせるまちづくり」という方針の主要事業であれば、ちょっと飛ぶんですけども、8ページ、表形式にして掲載しています。</p> <p>ここに掲載しております主要事業の内容を、施策の柱ごとの説明で、方針とともに掲載しています。また、主要事業として掲載していますが、合併後の新市または兵庫県が主体となって実施する事業を挙げております。</p> <p>ここでの掲載の方法なんですけども、さきの4月の小委員会でも確認いただきましたとおり、事業やその方針の大まかな方向性を取りまとめた表現で記載しています。ですから、その部分でいいましたら、表の一番上、施策の柱で地域福祉の推進とあるんですけども、主要事業を見ていただきましたら、例えば一番上でしたら、地域福祉推進体制整備事業とかいうふうに掲載しております。</p> <p>なお、表の下の部分、兵庫県実施事業につきましては、最終的には、県・県民局との調整を図りながら掲載方法というものは確認していきますけども、県が県民局単位で作成している社会基盤整備プログラムというのがあるんですけども、これはホームページなどでも公開されているものですが、これに掲載されている事業を基本的には挙げていってもらえればいいということで確認しておりますので、新市が実施する主要事業と比べれば、具体的な挙げ方となっています。</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>次に、ここでの主要事業の選定したものの分類方法について説明します。</p> <p>主要事業としてこの表で捉えておりますのは、新市の七つの主要課題、これを克服していくために必要な施策展開の考え方や、また、事業実施、必要な事業の観点から押さえていきました。また、合併特例債の活用を想定する今後の新しいまちづくりに応じて、特に必要と考えられる事業、新市の中で、特に市民生活に直結している事業から選定しました。</p> <p>具体的には、今から言う三つのパターンになるんですけども、一つ目としては、両市町及び兵庫県の実施予定事業調査というのを行いまして挙げられた事業です。合併協議会発足直後の、昨年11月から12月にかけて、両市町に、今後予定されている主な事業、また、合併を機に取り組んでいく必要があると考えられる事業について調査を行いました。同様に、県民局に対しても調査を行い、この調査に基づき提出された事業を取りまとめ、両市町で事業の計画や熟度から優先順位を記入してもらうとともに、合併特例債の活用についても意見を聞き、その中から取りまとめた事業を挙げております。</p> <p>それから、2番目に、事務事業一覧からの選定です。協定項目を含む約1,600項目の事務事業、Aランクのものは協議会に出ていると思うんですけども、その中から幾つか選定いたしました。</p> <p>それから、もう一つ、3番目のパターンですけども、この小委員会でいただきました提案や現在の社会情勢などを踏まえて、将来のまちづくりに不可欠な考え方や事業の方向性、具体的に事業として、現段階で実施しているものはなくても、合併後の新市や将来の社会情勢等を想定してみたときには必要であり、何らかの行政施策の展開を積極的に検討していく必要があると考えられるものを挙げていきました。これらのものから、コンサルや事務局で原案を策定して、大枠の事業費の中で、さきの小委員会でも紹</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>介しました財政計画と一定の整合性を図りながら、行政内部の関係専門部会で確認していただいたのが、本日、提出している資料です。</p> <p>きょうの小委員会で意見等をいただきました後、再度調整内容を明確にしていき、決めていきたいと思っています。</p> <p>以上が、ちょっと方針説明内容が長くなったんですけども、主要事業の掲載方法とか選定基準についてであります、ここまでで、何か質問などがありましたら、お受けしますけれど。</p> <p>特にないようでしたら、一つの方針ごとに、ちょっと文章長くなっているんですけど、説明ばかりになるんですけど、ちょっとさせていただきたいと思います。</p> <p>主要事業の表を見ていただいたら、ちょっとあいまいになっておるものもあると思いますので、ちょっと抜粋して説明していきたいと思いますので、5ページと8ページになるんですが、ごらんをいただきながら進めていきたいと思っています。</p> <p>まず、「ともに支えあい、みんなが笑顔で安心して暮らせるまちづくり」、主に健康福祉、生活安全とかの分野になる部分なんですけども、施策の柱、七つありますけども、順番にちょっと説明させていただきます。</p> <p>まず、一つ目、5ページですけども、地域福祉の推進というものがあるんですけども、これは新市の福祉体系全体にかかわることです。2行目にありますように、市民が主体となり、支えあい、助け合いの精神を基盤とした地域住民の福祉活動ということをもとに基本としています。この中で、地域福祉計画、これは行政、福祉事業者、地域社会での支えあい、助け合いの仕組みなど、地域全体の福祉活動をどうやっていくのかという計画なんですけども、それを策定していき、地域に密着した福祉サービスが提供できるように、NPOやボランティアなどの育成や活動の支援を行いますというふうにあるんですけども、これは、具体的には、</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>社会福祉協議会での活動を想定しております。</p> <p>それから、次の行にもあるんですけども、保健医療とともに連携した総合的な福祉サービスを提供するとともに、地域福祉活動の拠点となる施設の整備に努めます。これは、前の小委員会のときにも紹介があったと思うんですけども、総合福祉の拠点施設の整備というものを今のところ想定しておりますので、これを踏まえて書いております。</p> <p>それから、最後の行ですけども、ユニバーサルデザインに配慮した環境整備を進め、人にやさしいまちづくりを進めます。これは具体的に今実施していますんですけども、これは西脇市の方にあるんですけども、段差解消や公共施設の改修や民間の店舗改修などに、福祉のまちづくりの助成事業というものがありますので、このことを踏まえて書いております。</p> <p>それから、2番目の柱、医療体制の充実なんですけども、これは、主に建設されます新西脇病院のことを踏まえて書いております。1行目から2行目の施設の全面改修、ご承知のとおり、西脇病院の改築のことを踏まえて書いております。</p> <p>それから、3行目にわたっては、質の高い医療サービスの提供とあるんですけども、これは、新しい西脇病院では、今のところ、放射線事業、人工透析の拡大とかりハビリ、救急外来の充実ということが考えられていますので、それを想定して書いております。</p> <p>最後から2行目の部分なんですけども、地域の医療機関との機能分担、これは病診連携、ここでは病院と診療所ですね。地域に密着した、軽いといったらちょっと語弊があるかと思うんですけど、軽い病気などは地域の診療所で、それで、それよりも重い病気とかは病院でというふうな、連携を深めていくことで、地域内で医療完結を充実させていこうという体制と構築していきたいということが書いてあります。</p> <p>それから、3番目なんですけども、健康づくりの推進というこ</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>となんですけど、これも予防接種や健診など保健事業推進、これは人間ドッグの助成やまちぐるみ健診などを想定しております。</p> <p>それから、3行目からなんですけども、これは、市民の健康に関する情報を一元に管理する健康管理システム、健康情報や保健情報をコンピューターに入力しまして、データを一括管理することにより、健康を支える環境を整備していくというようなことが想定されていますので、それを踏まえて書いております。</p> <p>それから、あとは、新市の保健計画、これ健康増進法とかが施行されまして、それを受けまして、市民の健康生活を支えるための計画になるんですけども、それを策定しまして、乳幼児から高齢者まで、いろいろな健康教育や相談を行うなど、そういう体制を構築していきたいということが書いてあります。</p> <p>それから、次のページになりまして、子育て支援の充実なんですけども、学校教育や幼児教育にかかわる部分は教育の方に書いてあるんですけども、書いてありますとおり、保育サービスの充実と保育施設の整備、黒田庄町の場合、町立の保育園とかそういうことがありますので、総合計画にもうたわれてますので、そういう整備も視野に検討を進めるということを書いているのとともに、小学校低学年児童を対象とした学童保育の充実にも努めるということを書いております。</p> <p>それから、委員さんからいただいた意見等であったんですけども、これは、親の子育て能力を高めるというような考え方に基きまして文章を書かせていただいておりますのとともに、子育て支援や親の交流拡大の子育て支援ネットワーク、これ黒田庄町の方が充実しておる形になるんですけども、そういうものを新市においては拡充していきたいというような思いで書いております。</p> <p>それから、地域ぐるみでの子育て支援というのがこれから重要であるとの考えから、急速な少子化の中で、新市の子育て支援のあり方について検討を進めていく計画というのが上から3段目に</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>なります、その次世代育成支援対策推進行動計画、こういうのがありますので、そういうのを新市において策定していくということと、次、ちょっと書いてあるんですけども、これファミリーサポートネットワークの導入を検討ということで書いてあるんですけども、この資料が出ました後、ちょっと申しわけないんですけど、これ県にちょっと事業要綱等で確認したところ、ちょっと新市においては人口5万人以上という要件があって、それクリアできるのではないかという思いがあったんですけども、この導入はちょっと難しいということを受けておりますので、この表現はちょっと変えると思いますけども、ご了承ください。</p> <p>それと、最後の段では、これは、総合的な子育て支援機能と子供たちの健全な成長を支える支援を踏まえた拠点施設、これも、前の財政計画の中で説明したと思うんですけど、特例債等で想定しておる事業ですけども、そういう拠点施設の整備ということを書いています。</p> <p>それから、高齢者福祉の充実ということで、次のところになるんですけども、これは、主に、現在の事業を継続していくよ、ということになるんですけど、上から3行目ですね、社会参画、交流を促進する外出支援サービス、これは、黒田庄町の福祉送迎車の事業のことを想定して入れさせていただきました。</p> <p>それから、施設面では、主要事業の方で、老人保健施設、これはしばざくら荘が西脇市にあるんですけども、その一部改修というものを挙げておりますが、そのほかに、具体的な施設の改修というのでは特には挙げておりません。</p> <p>それから、次の施策の柱であります障害者福祉の充実ですけども、障害者福祉の方で支援費制度という制度が平成15年から始まりましたので、そのことを踏まえまして、そういう支援体制の整備に努めていくということが書いてあります。</p> <p>それから、最後から、2行目の方にあるんですけども、障害者</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
<p data-bbox="264 1653 443 1686">長谷川委員長</p> <p data-bbox="293 1944 413 1977">宮崎委員</p>	<p data-bbox="480 315 1353 640">の総合的な自立支援を推進していくため、新市において拠点施設の整備に向けた検討となっておりますけども、障害者自立センターとか、今既存の小規模作業所というのがあるんですけども、そういうようなものとともに、障害者の自立を支援していく施設の整備についても検討していきたいということで書いております。</p> <p data-bbox="480 667 1353 1160">それから、次のページになるんですけども、安心・安全対策の充実、行政ニーズとして高まりを見せている、社会情勢が不安定な中、生活安全対策ということで一括してまとめさせていただきましたけども、2行目の部分で、地域社会と連携しながら、安心して住み続けることができるまちづくり、これを基本に進めております。その中で、防災については、消防団施設の充実や消防ポンプ自動車の更新などのほか、合併協定項目のとおりやと思うんですけども、黒田庄町地域で導入されている防災行政無線の全市的な導入についても検討を進めますということにしております。</p> <p data-bbox="480 1187 1353 1512">それから、交通安全・防犯については、地域など関係機関と連携しながら意識の高揚を図っていくということと、消費生活、これ消費者相談の部分なんですけども、西脇市の方で、専門員を置いて体制を組んでおりますので、黒田庄町も、対象としてそういうのを進めているので、生活安全の充実というふうにまとめております。</p> <p data-bbox="480 1538 1353 1630">ちょっと長くなったんですけども、この骨子については以上です。</p> <p data-bbox="512 1657 823 1691">ありがとうございます。</p> <p data-bbox="480 1718 1353 1921">1番の、「ともに支えあい、みんなが笑顔で安心して暮らせるまちづくり」の七つの柱について細かく説明いただきましたけども、これについて、ご質問なり発言なりございましたらお願いしたいと思っております。</p> <p data-bbox="512 1948 1334 1982">最初の方でもちょっとあるんですけど、特に、6ページ目の、</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>子育て支援の充実のところなんですけども、まず、文言の中で、思うのが、4行目の、「子供を育てる充実感」というのを、これもうちょっと違うニュアンスで書いていただいた方がええんやないかなと思います。充実感といったら、やっぱりサークルとかスポーツとか、何かその辺のたぐいの感覚に思ってしまったんですね。子育ていいものはそんなもんやないと思いますので、充実感というのは不適切やないかと僕は思いますけど。</p> <p>それと、あとなんですけれども、このページと先ほどご説明いただいた8ページのところでのことなんですけども、保育サービスの充実と、保育施設整備事業と、それと、子育て支援推進事業、特に、子育て支援施設整備事業なんです。ここで言われた子育て支援整備事業というのが、これは何らかの拠点となる施設を建てるという事業案として挙がっているんでしょうか。</p>
事務局員	<p>そうですね、その文章にも書いておりますように、文章でいいましたら6ページの方でしたら最後の部分ですね、総合的な子育て支援機能という部分ですけども、そういう施設整備を進めますということで、前回の小委員会の中でも、合併特例債事業等の財政計画の説明したときにもあったと思うんですけども。</p>
宮崎委員	<p>具体的にこの項目になってきたとしたら、児童館の建築等のことになるんでしょうか。</p>
事務局員	<p>児童館事業も含めた子育て支援施設ということ想定しておりますけども、具体的に、ここまでこういうのを備えた施設ですよということまでは想定していません。</p>
宮崎委員	<p>できれば、僕らがずっと5年間程、ずっと手をかけながら、子育て支援のことをしてきたんです。その中で、やっぱり一つの拠点とか集う場所というのは最小限必要かもしれませんが、十二分に、公民館なり、またいろんなところであると思われるんです。ですから、こういう形の上で一つの拠点を設けて、なせるいうたら本当に意識のある親しか集まりませんので、そういった方向性</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
事務局員	<p>ではなくして、もっと内面的なネットワークを強めていけるような方向性で考えていただけたらなと思うんです。箱物は確かに大事かもしれませんが、財政を充当して成しえるものではないと思いますので、これはちょっとご検討いただきたいなと個人的には思っています。</p> <p>それと、漠然とした内容ばかりが、やっぱりどうしても気になった言葉が多いんですけども、先ほどの説明の中ではあったんですけども、県の方の施策とかいろんな形で子育て支援というのはあるんですけども、実際に、今、具体的に、子育て学習センターが黒田庄町の場合、例を挙げましたら中心になって、子育て支援ネットワークという、そういう精神的なもので、意識のある親をつくりあっていこうという形で取り組んでいるんですね。それがある程度軌道に乗ってきておりますので、もし参考程度になるようでしたら、そういった子育て支援ネットワークという、実際に今本町ですっと進めてやってきた事例がありますので、その辺の事例もちょっと含めた上でご紹介していただけたら幸いかなと思うんです。</p> <p>子育て学習センターとかそういう特定のものになったとしたら、やっぱりいろいろな問題点も発生するかもしれませんけども、子育て支援ネットワークのような形で事例のある、黒田庄町のもんがどういうふうに進むのかなという検討でも結構かと思っております。これが一番正しいとは思ってませんが、県からおりてきた施策を模索しながら、完全なものにならんままのものが今まで多々ありますので、実際に順調にネットワークを広げていける事例がありますので、参考までにさせていただいて、紹介していただけたらというふうに思います。</p> <p>一応、そういう意味も踏まえて、市民ネットワークの拡充という言い方してあるんですけども、これ、専門部会でも諮られているんですけども、はじめ子育て支援のネットワークという表現に</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
東野委員	<p>しとったんですけども、それとともに、児童虐待防止とかいうのに向けても検討していきたいから、名称を特定したりしていなかったりするんですけど、ちょっと大きめの意味でとりたいということで、これ、委員さん言われたことも踏まえて拡充を図っていききたいというふうにっておりますので。</p> <p>西脇市・黒田庄町との合併の、新市の取り組みをしてるんですけど、黒田庄町も一生懸命頑張っているんです。そういう中で、子育て学習センターの支援とかそういう文言のことははっきり明記していただけないかという意見を持っておられる方も、黒田庄町のよさを西脇市へ広げていきたい。西脇市が悪いとかいいとかそういう想定じゃなしに、広げていきたい。また、合併基本方針として、やっぱり旧自治区にも、振興局とかそういう方向性が出てますので、その中でも学習センター、そういう文言が入れていただければという声があるんですけども。</p>
事務局員	<p>事業想定は、全部、今言われたことは想定して書いておるんですけども、余りにも具体化し過ぎたら、それに束縛されて動けないという部分がありますので、10年を想定した計画の中で、ある程度意味が広くとれるものにしておかないと、逆にがんじがらめになってしまうということで、方針・方策としてこういう方向性を打ち出しておく。その中で、書けるものについては書いていく中で検討させていただいたものなので、その辺ちょっとご理解いただけたらと思うんですけども。</p>
宮崎委員	<p>もう一つだけよろしいですか。今、子育て支援のことだけに関して言いましたけども、この子育て支援と高齢化社会への対応と、その辺はもう一連になっていると思うんですよね。このすべての7項目のことが一つとして考えられるような体制づくりというのが一番大切やと思われるんです。そういうふうな地区制の構築とか地区の拡充を目指したような、個々にそれぞれの子育てだけやとか高齢化対応だけやとか、そういう個々にいうことだけじゃな</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
<p>長谷川委員長 浅田委員</p>	<p>くして、連携をとっていけるような、これおじいさん、おばあさんらに、乳幼児の子らとも接する機会をつくったりとか、そういう一貫性が持てるような体制づくりというのを念頭に置いて考えていただけたらなと思います。</p> <p>そういった意味で児童館とかそういう踏襲したような形での箱物やなしにもっと必要なものがあるんじゃないかなと思います。</p> <p>はい、どうぞ。</p> <p>また、子育て支援の充実のところなんですけども、ここに書いてあることは、子供を預けて女性が働く場所を拡充しようとか、整備をしようとかいうことを書かれてるんですけども、今、私が思うにはなんですけども、母親は、やっぱり子供を自分の手で育てるということが一番ベストやと思うんですね。仕事はするけれども、そのために子供をどこかに預けるというよりは、小児科の先生ともお話ししたんですけど、やっぱり三つ子の魂というのは、昔から言われとるように、やっぱり3歳ぐらいまでは母親の手で育てるのが一番いいのであろうと思うという話も聞いてるんですけども、そうした中で、預ける場所があるから働くというのじゃなくて、せめてゼロ歳から3歳ぐらいまでは母親が育てた後、その女性たちが復帰できる施策をとっていただけるとい、そういう社会というか、そういうものを目指しとるということを書いていただくことはできませんかね、施策の一つ入れるという。</p> <p>保育園の充実とか、ネットワークでみんなで見ようとかいうのでなくて、子供は親が育てましょう。それで、預けられる時期が来たら、3歳以上になったら預けて、そのときには、女性は復帰ができるという社会を目指しましょうとか、施策の中に入れるというのは難しいですかね。</p> <p>施策については、事業を踏まえて、こちらがまとめて、案自体は専門部会でもんでもらっているんですけども、ちょっと分野が異なるかと思うんですけども、</p>
<p>事務局員</p>	

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
浅田委員	<p>どういところでそれを理解したらよろしいんですか、この文章の中身でしたら。</p>
事務局員	<p>具体的に、子育てというよりも、男女共同参画の方のところで提案事業の方で打ち上げていただいているのですが、</p>
浅田委員	<p>その男女共同参画のことも思ったんですけど、4ページの、「心豊かな人を育くみ」というところの基本方針の1項目に、幼児教育の充実から、最後に、6番目として、男女共同参画の推進というのを入れていただけたらなと思うんですが。</p>
事務局員	<p>人権施策の方で男女共同参画を。</p>
浅田委員	<p>人権の中にひとくくりで入ってると思うんですが、言葉としては、男女共同参画というのは表には出てこないですかね。</p>
事務局員	<p>人権施策の推進の方で、男女共同参画社会の実現に向けては書いてありますね。それで、いろいろなパターンがあるかと思うんですが、余りあっちこっち書き過ぎたら、どこでこの施策をうたってあるのかわからなくなってしまうという部分があるので、できるだけ、分け方にはいろいろ異論があると思うんですけども、内部の調整では、男女共同参画のことは人権のところでは拾おうではないかということで。</p>
浅田委員	<p>今、人権教育ですかいな、あそこでまとめて人権教育と男女共同参画が同じ窓口ですので、窓口から言えば、これで、この中に男女共同参画も入ってるというのはわかるんですけども、男女共同参画の方から、そういう言葉を表に出すようにということも希望されておりましたので、人権教育室の中にあるというのではわかるんですけども、それと、この子育てとまた違うんですが、そういう復帰ができる社会が望ましいと私は思うんです。</p>
事務局員	<p>男女共同参画というのはそれを踏まえた社会ですわね。だから、それで言葉足らずの部分があるかと思うんですけど、男女共同参画社会を目指しますということは、当然そういうことも含まれておることになりますので、どの施策を強く打ち出すというの</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>で、言葉が表に出てくるというのは限られてくるかと思うんですけども、一応そういうことを踏まえて男女共同参画社会の実現というのは書いてあるんですけど。</p>
浅田委員	<p>理解いたしました。</p>
岩崎委員	<p>いいですか。</p>
長谷川委員長	<p>はい、どうぞ</p>
岩崎委員	<p>2番目の、医療体制の充実というところで、今度新しい病院の今工事が始まるとるんですが、「新病院整備に当たっては、多様化する患者ニーズに応じた質の高い医療サービスの提供ができるよう医療機器や」という、ここまでは理解できるんですよ。確かに、西脇病院は医療機器も大変すばらしいものが入ると。しかしながら、「その診療体制の充実を図るとともに」というところ、これはもう前々からこれは絶えず言われてきた言葉でありながら、やはり現在においても、例えば、開業医から、西脇病院に紹介状書いてもうてですね、まさに、西脇病院がさらに紹介状を書いて加西病院に送る。ということの繰り返しなんですね、今までの。だから、言葉としては、非常に医療体制の充実というのはきれいですが、これが実際、じゃあ、これを書いた以上やってもらわないかんわけですから。今度新しい病院になったときに、こういったようなことができるような指導は、一体教育はどなたがされるのかというようなこととか、実際これ言葉では書いて、すばらしい言葉なんやけども、本当にこのままで、箱物はきちっとできて、患者さんがあれだけ今現在でもですよ、あれだけいろんな方が3か月で病院出ないかんとか、また、たらい回しにされたとか、いろいろ予約が10時やのに12時近くになって診療してもらおうとか、そういうことが果たしてできるんでしょうかね。</p> <p>私は、言葉で言うたら何か非常にこれ、知らん人が見たらすばらしいなというように思うんですけど、現実として、将来、このような言葉どおりにいくんかどうかっていうの、非常に私、疑問と</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
<p data-bbox="293 1128 411 1160">事務局員</p>	<p data-bbox="480 315 730 347">不満を持っています。</p> <p data-bbox="480 371 1353 1099">だから、もう少し平べったく言うと、やはりもっと病院の先生を、もうちょっとすばらしい先生を、やっぱり長く、研修医のような方々が非常に実は多いんですよ。で、ある程度一流になれば、すぐぱっと開業されるということで、実は、私も、去年、おやじを亡くしてますが、正直言って研修医ですか、最初から最後まで。たくさんベテランの先生もいらっしゃいますけども、絶対数が足りませんので、どうしても研修医になってしまう。だから、そういうようなところを、今現在も、これから先も、僕はこれの繰り返しじゃないかと、こういうことを語ると、じゃあ、だれが教育・指導されるんですか。そこらもちょっと問いたいただきたいようなこれ文言なんですけどね。言葉としては、これ非常にいいんですけどもね、現実と言葉が余りにも、このギャップが激しい。ちょっと私は理解に苦しむんです。</p> <p data-bbox="480 1128 1353 1800">新市のまちづくり計画というのは、病院のことだけに限らず、やっぱり、どういうふうなまちを目指したいかという目標の言葉でありますので、不満を持っておられる部分もあると思うんですけども、診療体制の充実というのは、今言いましたように、例えば、人工透析の拡大や救急外来、リハビリの拡充とかいうのを想定されておるので、そういう面にとらえまして診療体制の充実、その上で、これは平成15年かららしいんですけど、臨床研修病院ということで、下の脚注にも書いてあるんですけども、研修医を指導する資質の高い人が在職する病院を目指していこうということで、新病院がしていくということになっていきますので、現実はどうかと、不満あると思うんですけど、そういう目標を書いていくことによってそれを実現していきたいというのが計画です。</p> <p data-bbox="480 1830 1353 1917">今言われましたこと、答えになっているかちょっとわからないんですけど。</p>
<p data-bbox="293 1944 411 1975">浅田委員</p>	<p data-bbox="512 1944 1353 1975">余談ですけど、きょうこの話が出て、岩崎さんの声が届いとっ</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
	<p>たんやと思うんですけど。病院へ何か指導者が入ってらっしゃるらしいですね、病院。院長の上に何とかいう人。ちょっと名前忘れたんですけど。</p>
岩崎委員	<p>入ってますね。</p>
浅田委員	<p>あの方が入られて、先生方も看護婦さんたちも今は、ちゃんというか、きちっとというのか、されとるような。体制が以前よりはよくなってきたという、きょう聞いたとこなんですよ。病院は、今、そういう体制が、というのか目の届く人が一人いらっしゃるので、非常によくなってきた言うたら悪いですけどね、前が悪かったみたいで。そういう体制が整えられてきとると、きょう話聞いたとこで、きっとそういうお話が届いたんやないですかね。強いご要望が。</p>
岩崎委員	<p>それはね、全部が全部じゃないですから、ほとんど病室の入院患者さんの、例えば、看護婦さんは非常に言葉遣いが親切になったりとか、そういうことは非常にいいんですけども、実際外来患者の方々にはちょっと行き届いてないようにやっぱり聞きます。</p>
長谷川委員長	<p>個々に一つ一つ思いを挙げますといろいろなことが出てくるとは思うんですけども、将来の西脇市をこういう方向でもっていききたいという、一つの符号であり、どういったらいいのですかね、計画といってしまえばそれまでなんですけれども、やはりそういったところで理解していただければと思います。</p>
小林副委員長	<p>非常にまとまってるんですけど、やはり最近の、出生率の発表があって特に思うんですけど、東京都の出生率、女性一人当たりの出生率が0.幾らですね、1を割ったという、これはゆゆしき問題なんですね。ですから、こういう計画を立てるときに、いろんなことをもちろん総合的に書きますけど、先ほど浅田さんが言われたことも一つだと思うんですが、やはり総合的に、これ子育てというか、子供を産める環境というのをまず第一に優先してやらないと、恐らく衰退していきますよね。特に、先ほど前にも出</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
コンサルタント前田氏	<p>てました、けど人口というのはどんどん減ると、この地域は特に減るということでありましたけれども、やはり、本当に子供を安心して産める環境というのがやっぱり一番大事だと思うんですよ、今から何か決めていくときに。</p> <p>そうすると、やっぱり少しその辺が、触れられてはいるんだけど弱いかなど。今、浅田さんが言われたように、もっと総合的に、これでもか、これでもかというような施策をつくらないと、今からの日本は本当にだめになっていく。日本はいいんですけど、この地域、特に、最近の出生率を見てまして思います。</p> <p>ですから、まずやはり子育てというより、むしろ子供を産める環境というもの、安心して産める環境というのを最優先に持ってきてほしい。特別、この頃特に思いますけど。</p> <p>そのお話については、なぜ子供を産まないかというのは、恐らくすべてにかかわる話であるんですけど、あと、一番今よく専門家とかよく言っているのは、やはり、日本は先進国の中でも出生率の下げ幅が非常にすごいですね。だから、先進国というか、そういう成熟社会であるから、女性の価値観であるとかそういったものが変わってきたから出生率が低くなってきただけではないということがあるんですね。</p> <p>社会福祉もそうなんですけど、やっぱり日本でこれだけ落ちたのは、ちょっと、今上向きかかってますけれども、ちょっと長引いた不況であるとか、一人で子供を産んで育てる学費の高さであるとか、経済的な面がちょっと大きいんじゃないかというのが、今一番よく言われていることでもあると思います。</p> <p>ということを見ると、実は、ここで子育て支援をやるというよりは、実は、後の方の「活力ある」のところで、やはり地域内の経済循環も活性化させてということも、やはり出生率であるとか子供の話しには重要になるのかなと考えられます。また、教育の話もそうだと思うんですけど、そういったことを総合して、全</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
<p>小林副委員長 浅田委員 岩崎委員</p>	<p>体として、子供が安心して産めるまちづくりということで、その中で、代表した柱として、やはり生まれた子供たちがすこやかに育つようにという意味合いも込めて、子育て支援の充実という部分はあると思います。</p> <p>何か強調するような手法はありませんですかね、その部分を。出生率日本一を目指す地域の……。</p> <p>余談になりますが、昔はね、今はどうなのか私も知らないんですが、いわゆる児童手当というような、3人目から当たったというようなこともありましたし、今小林先生が言われたように、確かに、今の少子化というのが、何日か前にテレビでやってましたけども、今の状態で日本がこのまま進めば、3,000年に人口が1人になるというようなことを言ってましたね、聞かれました。計算上ですよ。それぐらい、今、そういう少子の問題がもう重要やと。</p> <p>外国へ行けば、それなりにたくさん今産んでるような国がたくさんあるんですね。それには、やはり特典を与えたり、こうしなさい、そうすればこれをバックアップしましょうといういろんな特典があるんですね。日本は、今言われたように、産んでも子供を育てられない、物価が高いから共働きする、そしたら二人も三人も産めないというような、何かこう悪循環のような感じはするんですけど。だから、今言われたように、本当に、子供を産めよふやせよといういろいろな施策を考えないと、西脇だけじゃなしに、本当に日本全体の問題だと、真剣に考えていかないかんのではないかと思いますよ。</p>
<p>事務局員</p>	<p>その中で、いろいろ述べてあるんですけど、一つはコンサルの方から言われたように、子育て全般について述べていくことが一つと、その中で先送りするわけじゃないんですけども、特に子育ての部分で言いましたら、ここに書いてあるこの次世代育成支援対策推進行動計画、というのは、急速な少子化が進む中で、</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
宮崎委員	<p>子育て支援のあり方、地域ぐるみでの子育て支援や、こういう子供が減っていく中で、どういうふう子育て支援をしていくかということを検討していく計画というか、この計画になるので、具体的にはこういう計画をつくりながら、子育て支援はどういう施策をしていくんかというのを特化していきたいという思いで、この名称は現在入れておるんです。担当課からも、一応そういうふうな意味合いで、これ入れてもらったらいいいということでしたので。</p> <p>これに関してはものすごく賛成できるんですね。ものすごくええことやし。これは推進して欲しいと思います。ただ、財政面を考えて、同じようなあれですけど、財政面を考えた上で余りかえっとるんやったら、高齢化の前に、ここで、児童館なり各地につくっていったら望ましいんですけど。そういう財政的な余裕があるかどうか、ちょっと心配してるだけでね。だから、ここで、「拠点施設の整備を進めます」となってしまっていいもんなんかどうか。ちょっと勇み足ならないかなと思ってしまっただけなんですけどね。もっとそれ以前に、特別養護老人ホームめいた何らかの施設とか、さっきも言われたように病院に入院されるお年よりの方がずっともう退院してもかまへん言われとるんやけども、入院したいんやけど、いろいろないるんな事例聞きますので、より以上にもっと必要としとるもんがあるんやないかなと思うんです。</p>
事務局員	<p>ちょっと、ここで答えを言うのは難しいんですけども、さっき言いましたように、いろいろな担当課なり想定する事業や考え方をまとめていく上で、これは整備を検討していきたいなと、整備については書いてないといけないということもあるんですけども、そういうのは、やっぱり施設整備というのを考えていきたいという意味合いで入れておるとしか、ちょっと言いようがないんですけど、当然、今の整備していく中でも、そういうことに努めていきたいという形で入れてあるんですけども。</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
長谷川委員長	<p>この7項目の中の説明の文章と、それから、主要事業について、事業についてはこういう形でざくっとこういう事業、こういう事業という形で表現されてますので、個々に、例えば、児童館つくりましょうとかこういうようなこと書いてありませんので、それも含まれるという解釈。そういうふうな、好意的に、そういう感じになるんですけども、こういう表現が一番妥当かなという。</p> <p>これについて、ほかにはございませんか。</p>
西山委員	<p>一番最後の、安心・安全対策の充実の一番最後のところなんですけど、「消費者自身の判断力を高める情報提供を行うとともに、さらなる総合体制の充実に努めます」とあるんですけど、これ私の解釈が違っているのかもしれないんですけど、私、以前、子供の学校の役員をしておるときに、一番多かった苦情が、小学生ですから、徒歩で通学するのに歩道があまりにもないので、危なくてしょうがないと。どこに言っていけばいいかという苦情といいますか、要請が一番多くてですね、署名をすとか言いながら、結局、どこに行けばいいかわからないということで、私自身も市の窓口はどこなのかなというように思ってまして、この文章の相談体制の充実というのはどの場合の相談体制の充実なんでしょうか。</p>
事務局員	消費生活の相談という。
西山委員	消費生活。
事務局員	<p>消費生活というのは、いわゆる悪徳商法とかをはじめ消費者相談というのがあるんですけども、そういう場合、これ苦情が、すごく増えていく中で、ちょっと今さっき言ったんですけど、西脇市は専門員を設置しておって、毎週、相談窓口を開いておるんですけども、それは、当然、新市になっても継続していく中で、黒田庄町の地域も対象にしていくということで、こういう面の充実ということです。</p>
西山委員	そういう安全面の相談体制の充実ではないんですね。
小林委員	消費生活の相談です。

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
西山委員	<p>少なくともそちらの安全体制の充実も書いてもらえる部分あればありがたい。</p>
事務局員	<p>その上に交通安全防犯についてはということで書いてますね。その部分での、交通安全施設というのは、当然、歩道とかそういうものについて書いてますけど、一応、そちらの方で書いておるといふことで。</p>
東野委員	<p>市民課の方で担当されてますね、生活相談。黒田庄町も含めて大事なことを市役所の1名で十分対応ができるのか、その辺を、充実という意味合いがもう少し、そういった方を1名、2名補充できる、そういう意味のことも含めているかどうか。含まれてると思うんですけども。</p>
長谷川委員長	<p>これもあれですね、実際、現実には、やっぱり事務局といいですか、担当課の方で、理由がわかったら増やしていただくとか、そういう施策をやっていく。</p>
東野委員	<p>いいです。いいです。</p>
長谷川委員長	<p>ほかにございませんか。なければ、次の項目へいかせていただきますけども。</p>
事務局員	<p>それでは、次の項目の方お願いしたいと思います。</p>
事務局員	<p>次、2番目ですけども、「快適な暮らしを支える生活基盤が充実したまちづくり」といふことで、都市基盤とか生活環境の分野について、五つの施策の柱で書いております。</p> <p>一番上が、道路交通網の整備といふことで、県道、市道の整備といふことで書いておるんですけども、そういう道路網の整備について努めていきたいといふことです。</p> <p>それから、2番目が、公共交通の充実といふことで、主に路線バス支援のことについてなんですけども、これは、さきの協議会でありましたように、1段目に書いてあるとおり、新市において、交通体系や既存の公共交通全体の実態を把握しながら、どういった公共交通のあり方がいいのかといふことについて検討していく</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>ということと、それから、既存の民間バス路線については、路線維持に向けた運行支援、路線バスの運営費補助という制度のほかのことを踏まえて書いておりました、それから、協定項目で確認いただきましたように、コミュニティバスの運行形態についても新市の中で検討していくということです。</p> <p>それから、3番目に、もう電化を踏まえて書いておりますけれども、16年度中に加古川線の電化がされる予定ですので、その中で、利用促進に向けて、今もやっておるんですけど取り組んでいくとともに、地域のにぎわいを創出する活動交流拠点としての駅舎整備や沿線活性化、これは、黒田庄町の方ではJRの駅舎整備ということが検討されていますので、そういうことを踏まえて書いております。</p> <p>それから、3番目が、定住基盤の整備ということで、全般的には、快適な居住空間の環境と整備を進めていきますということで、これも、協定項目等で確認していただきましたとおり、3行目に計画的な土地利用を図るとともに、西脇市は都市計画区域がありますので、そういう都市計画マスタープランとか、都市計画法で、市街化調整区域の弾力的運用というようなことがありますので、そういうことを踏まえて土地利用を図っていきたい。さらには、土地区画整理事業や良好な宅地の供給、これ、良好な宅地の供給は、茜が丘におきまして、西脇市の方は、今年度から、宅地分譲課というのを設置されまして、住宅の販売をされておるということを踏まえております。</p> <p>それから、公営住宅の整備、これは県営、市営の住宅で整備を進めていくということがありますので、そういうことを踏まえて書いております。これ以下、公園や広場の整備についても努めていくということに記載しております。</p> <p>それから、次のページになりますけれども、上下水道の整備ということなんですけれども、水道施設の通常更新なんですけど、更新を</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
長谷川委員	<p>していくとともに、新たな水資源の確保に努め、浄水処理の高度化など、質の高い水道水の供給を視野ということなんですけども、黒田庄町では、高度浄水処理、クリプトスポリジウムというものの発生を抑える高度浄水処理というのがされているんですけども、西脇市においても、そういうものを視野に入れて、施設の整備を進めていきたいということと、下水道整備については、未整備地域において、西脇市が中心になるんですけども、公共下水道など、生活排水処理施設の整備を進めていくということを踏まえております。</p> <p>それから、最後が、情報通信基盤の整備ということなんですけども、情報の受発信が可能となる通信基盤の整備に努めていくとともに、民間事業者への要請なども含めていきたいなということと、携帯電話、これは日常生活に不可欠なものとなっていますので、そういうものの不感地域の解消に努めていきたい。そして、さらには、行政においても情報化を進めていくというふうなつもりで書いております。</p> <p>以上です。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>この項目ですけども、「快適な暮らしを支える生活基盤が充実したまちづくり」、その5項目についての説明は終わりましたけども、これについての、ご質問ありましたらお聞きしたいと思います。</p>
小林副委員長	<p>はい、どうぞ。</p> <p>文章でいきますと、定住基盤の整備ということで、「市外の転出を抑制し」と、そこまであまり言わなくてもいいのではないかなというのが一つあります。定住を促進するということだけでわかりますので、別によそへ行くのがいやという、そういうことではないと思うんですけど。それよりも情報通信基盤の整備ということで、今、西脇市で、まちづくりガイドラインの策定ということでやっ</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>てるんですけど、要は、その行政の情報あるいは市民の情報、そういうものの発信をするのがどうしても弱いと。だから、市民がそういう情報を手に入れる機会が非常に少ないというようなことが一番のポイントになっておりまして、言うこと言えばC A T Vがあればなというようなことを非常に言ってるんですけど、それについては、いろいろ財政面を伴いますので、簡単にできることではないんですけども、やはりそういう情報通信網の整備というところをもっともっとやっていかないと、将来的には、双方向の情報が送受信できるっていうのをぜひやって欲しいというのが今での話ですね。財政面ではわかりませんので、ちょっと、その辺、研究課題という形でいつも終わるんですけど、非常に加美町なり滝野町、まあ社もそうらしいですが、やっておられますので、何とかそういうような方向にはもって行ってほしいというのが希望です。</p> <p>以上です。</p>
長谷川委員長	<p>二つ出ましたけども、まず、定住基盤の方で、表現ですけども、「市外の転出を抑制し」の項目を外してはどうですかという提案があったのと、あとは、情報通信基盤の整備については、双方向的な方向を踏まえてということで、それについてはどうですか。</p>
事務局長補佐	<p>「市外への転出を抑制し」というのは、これまた、前の現況のところでもお話させていただきました割と、西脇市から近隣の市町、例えば滝野といったところに転出、非常に、現状多いというようなことでお話させていただいたと思うんですけども、そういったことを踏まえて、文言として、意味は、今小林委員さんおっしゃるとおり、これを取っても通じるんですけども、そういった現状がありましたので、ちょっと入れさせてもらったということなんですけども。どうでしょう、もし必要がないということであれば、取らせていただいても意味は十分通じるとは思うんですけども。</p>
小林副委員長	<p>現実にそうですね、滝野とか社へたくさん行ってるんですけど、</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
事務局員	<p>しかし、何かこうやっかみ半分で言ってるような気もするんですけど。その根本はやはり魅力があるからですよ、向こうの方が魅力があるからですよ。この前、何か講演あって言ってましたけど、滝野町、非常にまとまっていいとこだというような、あれは神戸の団体でしたけど、言ってましたけど、やっぱり魅力があるから行くんですよ。だから、それあまりこう、転出を抑制しというのは、ちょっとやっかみ半分で言うてるんかなと。それより魅力を高めるのが先なんですけど。ちょっとこう前向きじゃなくて、言葉、いい言葉ないかと思います。いや、そう思っただけですけど。それは文章なんで、それはあまり問題にしません。</p> <p>財政基盤がなければちょっと難しいとは思うんですけどね。情報通信というのは、双方向にやっぱりやりたい、というのが一つありますね。</p> <p>情報通信の部分が、担当課もそういうふうと言ったんですけど、どんどん情報通信が革新されていく中で、どのものが、この時点でいいというのをここで述べておくのは難しいかなという社会の情報通信技術の革新とか見ながら、将来、双方向になるであろう、テレビ等にインターネットとかそういう機能が入ってくるんじゃないかという話を踏まえた中で、あえて限定して書かない形にしてここへ書いておけばということで、こういう表現にしています。</p>
小林副委員長	<p>「双方向の」ということは言えませんか双方向発信できる何かの。</p> <p>確かに、コンピューターつないでも、今の形じゃないと言われてましたよね。多分、携帯がもっと進歩して、それにかわるてなことも言われてますけど、それはわかりませんが。実はPHSというのはできたらやめて欲しいな、もうPHSてのはほとんど使われてませんね。</p>
事務局員	<p>今言われたことを踏まえて、ちょっと専門部会と調整させてい</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>それから、最後の段で、農業の持つ多面性に着目し、一次産業だけにとどまらず、二次、三次産業化も視野に入れた新しい農業のまちづくりということで、一次産業というのは生産だけになるんですけど、二次、三次産業というのは、この生産品を加工して、販売とかいうことにつなげていった農業施策の展開を考えていきたいということで書いております。</p> <p>それから、3番目の柱は、観光の振興、交流の促進ということで、都市部から近いという位置等を利用して、現状も、北はりま田園空間博物館構想などの推進に当たるのですが、地域資源を活用して、地域の活性化につなげていきたいということと、それから、既存の観光地・交流拠点整備が、黒田庄駅の整備を言ったんですけども、その中で、交流機能をつけた駅舎整備というものも含まれておりますので、交流拠点の整備という、その意味合いも加えております。</p> <p>それから、交流イベントの開催。これさまざまな地域の活性化のまつりとかいう部分というのを踏まえて、こういうのを開催していくことにつなげていきたいと。</p> <p>それから、体験型観光などのグリーン・ツーリズムの、西脇の方では、住吉の市民農園などが開設されておまして、都市部からの体験型農業観光などに今取り組まれているということで書かせていただいております。</p> <p>それから、最後の段が、国際交流、地域間交流ということで、協定項目でも確認いただきましたとおり、西脇市の姉妹都市、国際友好都市などがあるんですけども、へそのまち協議会等という都市親善があるんですけども、そういうのも続けていきたいということで、ここ、書かせていただいております。</p> <p>それから、最後のページ、13ページの方になるんですけども、地域経済の活性化、雇用の創出というところで、あえて別立てにしておりますが、住民アンケートで、最も新市に希望するものと</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
長谷川委員長	<p> いうので一番多かったのが、産業・経済の活性化というものですので、別立てにさせていただいております。既存の企業支援や企業誘致などのことも書かせていただいておりますけども、それ以上に、また、地域の特色や産業集積を生かした産業の創出、堆肥センターなどもこういうものに含まれてくるかと思うんですけども、また市民活動を土台にしたコミュニティービジネス、下に解説があると思うんですけども、地域課題の解決に向けて、今、経済面だけでは成立しないような市民ニーズ、公共サービスのすき間を埋めるものとかの起業支援や、そういう市民ニーズに対応するNPOの設立や活動支援などにも努めていくとともに、ワークシェアリングの導入とか地産地消、今さっき書いてあったんですけども、そういうものを図りながら、地域経済の再生、経済循環を促進する仕組みづくりに向けて検討をしていきたいということで柱立てしております。 </p> <p> 以上です。 </p> <p> ありがとうございました。 </p> <p> 「地域の特色を生かした活気とにぎわいを創出するまちづくり」の柱となる4項目についてそれぞれ説明がありました。これにつきまして、次のページに主要事業なども書いてございますけども、質問などございましたらお受けしたいと思いますけども。 </p>
東野委員	<p> 商工業の振興と拠点整備、地域経済の活性化と雇用の創出にもつながるんですけども、「既存企業の支援に取り組みます」という既存企業の構造転換という意味合いんですけども、その中で、これも重要なことなんですけども、それとともに、新たな産業の導入とか振興にも力を入れていくことで、企業誘致の文言もあるんですけども、商工業振興拠点整備の中で、いわゆる既存事業への支援に取り組むことだけでなく新たな産業の振興とかそういうものも欲しいと思うんですけども。 </p>
事務局員	<p> そうですね、今委員さん言われてましたように、ほかの事例と </p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
東野委員	<p>か見ましたら、商工業の振興の中に、新産業の創出を図りたいという意味合いで書いてあるところが多いんですけども、あえて、4番目の柱としまして、地域経済の活性化ということに取り組んでいきたいということになりましたので、例示していく中で、どちらかにまとめた方がいいであろうということで、現況は、4番目の方の地域経済の活性化、雇用の創出ということで新産業の創出、商工業の振興を既存のものに近いものだけに限定しまして、こちらの方に書かせてさせていただいておりますけども。</p> <p>一応、事務局としてはそういう整理させていただいておるんですけども、どうでしょうか。</p> <p>播州織、やはり西脇を育てた大きな産業ですので支援をしていかなければならないのはわかるんですけども、播州織、やはりこう、構造転換とかそういう方向を生み出さないと、やはり縮小せざるを得ないような現実であろうと思います。そのことも含めて、ここへ、商工業振興の中へ新たな産業そういう何か欲しいかなと思って言わせていただいたんですけども。</p>
事務局長補佐	<p>今、東野委員さんが言われました意味も十分わかるんですけども、先ほど、担当が申しましたように、その、前の方の部分では、今までから取り組んでおる経済活動、また、現在も取り組んでおります活動を主にして書いております。それを含めて、後の方では、それらの一緒になった新規の産業の創出であるとか、そういったことも含めて後ろ側へ書かせていただいたつもりでおるんですけども、ですから、前の方を、先ほど言われました播州織、そういったものをトータルした形での取り組みが後ろの方でもできないかというふうな意味合いで書かせていただいとるんですけども。</p>
東野委員	<p>いや、そういう意味合いだと思ったのであえて発言させていただきました。</p>
小林副委員長	<p>商工業の振興で、先ほど東野さんも言われましたけども、例え</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>ば、地場産業っていうのは構造不況だと言われて、これはずっと前から言われておりますので、これはもうこれでもう言っても仕方ないと思うんですけども、ただ、2点ありまして、例えば釣り針なんかは、ここ2、3年非常に悪かったんですけど、またちょっとここで取り返してると。取り返した企業はどうしてるかといいますと、中国で加工あるいは下請けをしていただいて、非常に安く提供してもらったものを日本で売って、ですから、収入は減ってるんですけども、利益が出てくるというようなことになってましてね。もちろん、釣り針だけじゃなくて、いろんな今日本のもうかっている産業というのはほとんどそういうことやってまして。</p> <p>その中で、じゃあ、個々の企業は利益出しておられるんですけども、地場としてどうなのかと言われると、地場には影響がほとんどなくなってまして、その恩恵が受けられないということになってます。</p> <p>ですから、企業を残す宿命というものと、地場産業としての地域全体を盛り上げるということはかけ離れたものになりますので、ここで言われてることは、多分何もできないというふうに思います。</p> <p>播州織もそうです。播州織については、そういう、うまく利用することができませんので、構造的な不況については何も地場としては何もできない、ただ、その中で、今言いましたように1点目がそういうことですけども、もう1点目は、今、例えば、先ほどから出てますように、調整区域で何かをしようとするときの特典といいますか、地場産業の持っている特典というのが非常にございまして、農地を宅地にするときに、地場産業であれば簡単にできるとか、そういう中身は、播州織と釣り針というのは地場産業としてなってますから非常にある。ところが、じゃあ、ほかの産業がそれをやるとすると非常に難しいようなこともございますけど</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
<p>長谷川委員長 西山委員</p>	<p>も、むしろ、地場産業、播州織や播州釣り針はなかなかそういうことはほとんどされない。やられない中で、そういう何かあったときには特典だけが大きくなる。そうすると、新産業にしましても、なかなかそういう特典を受けられませんので、なかなかそういううまくやれないと、経費が少なくても、何とか産業を立ち上げることはなかなか難しいという問題は、これはここだけじゃないんですけども、全国的にあると思うんですね。</p> <p>そういうことをもう少し何とかスムーズにできないかなというのが1点ございます。</p> <p>ですから、2点で、ちょっとここうまはまとまってるんですけど、もう少し、ここでどうするというのではなく、そういうふうな方向性がもうちょっと打ち出せないかなと。</p> <p>例えば、新産業で、調整区域、山林なんかで立ち上げようとしても、コンピューター関係、ハイテクノロジーと言われる分であれば認められないところあるんですよ。ですから、もっと普通の新産業でもそういうことが何とか認められるようにですね活性化するためにはそういうまちづくりもできないかというふうにも思いますけど、そういう意見ですけど。</p> <p>はい、どうぞ。</p> <p>小林委員さんの意見に同感でありまして、播州織や釣り針関係聞きますけども、どうしても私たち地元における若者として、播州織・釣り針ときますと、またとってしまうのが正直なところでございまして、これ一つの事例なんですけど、西脇青年会議所、今所属さしてもらってるとこみんな商売人なんですけど、出張、出張で、みんな中国なんですね。中国に出店して、中国に工場持って、こういうのばかりが今耳にしておりますもんで、これではいかんというのとは事実としてはわかるんですけど、利益を出すためにそれしかない。それが現状でして、こう考えてみると、どうしたら自分のふるさとを発展できるのかということ正直なところ、こ</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>ここまで来てるわけですから、どうしても企業誘致に頼らざるを得ないというような現状がありまして、一番最後の項目に「企業誘致にも努め」と載ってますからいいんですが、どうしても、実は他人任せにしたくないんですが、こういうふうにもせざるを得ないかなと、今の現状でして、一番の商工業振興と拠点整備というのを必ず出さないといけないんですが、どうしても、正直なところまたかと思ってしまうもので、何とか若者向きにと言ったら大変語弊があるかもしれませんが、何とかならんのかというのが正直なところです。</p>
事務局員	<p>今、委員さん言われた部分もあるんですけど、これも行政内部での話になるのですが、地域の、西脇市なり黒田庄町が発展してきた礎というのは、播州織、播州釣り針があった、そればかり言われるのがあるという意見をようよう承知しておるんですけども、やはりそういう産業があったから、間違いなく西脇市が発展していった。現に、その中で、働かれている人が多いという状況も踏まえて、こちらはやはりそういうふうに整理させていただいて、そして、今言われたように、当然、若者の定住化には企業誘致なり、新産業の創出というのが必要である、そういうのは、当然、どこの市でもそうなんですけど、やっぱり施策として打ち出していくという中で、企業誘致の部分でも、西脇市、なかなか土地利用の平坦地が少ないとか難しい問題があるんですけど、その中でも導入に向けて計画等もつくっていったらいいので聞いておりますので、そういうことを踏まえて企業誘致、新産業の方は、特に柱立てさせていただいたりいうことで整理させていただきたいと思うんですけども。</p>
長谷川委員長	<p>事務局側からいいますと、事実、そのとおり、省くわけにいかんし、正直いいますと。</p>
西山委員	<p>言うときながらそうですよ。後はもうどう考えていくかですよ。</p>
宮崎委員	<p>さっきも聞こう思っておったんやけど、実質文言だけきれいに</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
小林副委員長	<p>まとめるだけやなしに、企業誘致するにはある程度の規制緩和なり何らかの措置を取らんことには、これも成し得られへんことだと思いますので、新市になるときに、ある程度乱開発とか、そういう有害なもの以外に対しては、ある程度の規制緩和なり、何らかの施策が必要になってくるんじゃないかなと思いますけど。</p>
事務局員	<p>もう一步踏み出してほしいという気はありますね。</p> <p>中畑の工場公園はもうかなり閉鎖されてますよね。現実には非常に厳しいとは思いますが。</p>
事務局員	<p>その中で、一番最後に組み入れているんですけど、そういうことを踏まえて、これ4の3の柱の方に書いてあったと思うんですけども、新しい制度によるまちづくりということで、ちょっと重複ですけど、その中で、構造改革特区や地域再生計画とかいうのがあるんで、こういうようなものも踏まえて、いろんな地域の発展のために新しい制度の導入を、全体的にかかる部分なので、そこへ書かしていただいておりますけど。積極的に図っていきたいということで、これも初め、地域経済の活性化の方に入れようかとかいう議論もあったんですけど、全体にかからせる部分なので、まちづくりの中でそういうことを考えていったらということで、4の3の後ろの方に入れさせていただいたんですけども、そこで全体的なものをやっていくという方向にさせていただいたらと。</p>
事務局長補佐	<p>委員長、もしほかになれば、ちょっと時間も大分長くなって、5分か10分ほど休憩を取っていただいたらなと思うんですけども。</p>
長谷川委員長	<p>はい、わかりました。</p> <p>それでは、ほかに意見がなければ、この3番の「地域の特色を生かした活気とにぎわいを創出するまちづくり」を終わらせていただいて、休憩に入らせていただきます。</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
<p data-bbox="264 432 443 465">長谷川委員長</p> <p data-bbox="293 607 414 640">事務局員</p>	<p data-bbox="791 315 1043 349">(休 憩)</p> <p data-bbox="512 432 1002 465">それでは、再開させていただきます。</p> <p data-bbox="485 490 1353 580">4番の、「こころ豊かな人を育み、いきいきと活躍できるまちづくり」ということの柱についての説明をお願いいたします。</p> <p data-bbox="485 607 1353 752">それでは、4番目の、「こころ豊かな人を育み、いきいきと活躍できるまちづくり」ということで、この分野は、教育・文化のものを主にとらえています。</p> <p data-bbox="485 779 1353 925">柱が五つあるんですけども、一番目の柱、幼児教育の充実ということですけども、これは幼稚園での教育、施設環境の整備などを柱立てて書いております。</p> <p data-bbox="485 952 1353 1220">それから、2番目の、学校教育の充実という部分ですけども、これは、校舎やプールなど老朽化した小・中学校施設の改築・整備を進めていくということとともに、新市においては、学校給食施設の適切な運営を検討した上で、施設の整備に向けても検討していきたいということを踏まえております。</p> <p data-bbox="485 1247 1353 1516">それから、教育内容の、国際感覚の養成や情報活用能力の向上など、多様なカリキュラムの展開を図っていきたいということを書いております。それから、いじめや不登校、学級崩壊など複雑化・多様化する教育環境の課題にも対応していきたいということを書いております。</p> <p data-bbox="485 1543 1353 1856">それから、3番目の、生涯学習の充実という部分ですけども、これは、生涯学習の活動の場所、機会の創出を図っていくとともに、そういう生涯学習で得た知識を地域に還元できる仕組みをつくっていかうではないかということを書いております。それから、この部分で、青少年の健全育成ということも拾って書いております。</p> <p data-bbox="485 1883 1353 1973">それから、次のページになりますけども、文化・スポーツの振興ということで、まず、文化面では、さまざまな市民の自主的な</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
長谷川委員長	<p>文化活動を支援していくとともに、文化の施設の整備についても検討していきたいということで書いております。</p> <p>それから、スポーツ活動の方ですけども、地域のスポーツクラブの定着を図るなどするほか、施設の整備、現実に、黒田庄町の方では総合運動公園の整備、西脇市の方では坂本の多目的グラウンド等整備も進んでおりますので、そのことを踏まえて書いております。</p> <p>それから、最後が、5番目の柱で、人権施策の推進ということなんですけども、人権意識の啓発活動に努めていって、人権意識を高めていくとともに、男女共同参画社会を実現していきたいということについて書いてあります。</p> <p>以上です。</p>
東野委員	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>今、五つの柱については、説明が個々に終わりましたけども、これについて何かございませんか。</p>
長谷川委員長	<p>学校教育の充実の中で、今、さまざまな、低年齢化した事件が起きています。その中で、「多様化する教育環境の課題に対応していくために」のすぐ後に、「道徳性を高め、心の教育の充実を図るとともに」という、道徳意識を高める、人として歩むべき道、そういう道徳心という中で、心の教育の充実を図るいう、そのような意味合いのものを入れてほしいと思うんですけども。</p>
事務局長補佐	事務局、いかがですか。
東野委員	すみません、ちょっと聞き漏らしたんで。どこの辺ですか。
	<p>「一方でいじめや不登校、学級崩壊など複雑化・多様化する教育環境をめぐる課題に対応していくため」の後へね、「道徳性を高め、心の教育の充実を図るとともに、子供たちや親の相談体制の充実を努め」とか、文言変えてもらってもいいんですけど。そういう意味を含めたところが述べていただけないかと思うんですけども。</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
<p data-bbox="261 315 443 344">事務局長補佐</p> <p data-bbox="261 434 443 463">長谷川委員長</p>	<p data-bbox="485 315 1347 405">その文言につきましては、ちょっとまた専門委員会にも相談させていただいて検討させていただきたいと思います。</p> <p data-bbox="485 434 1347 636">そういうことで、ちょっと検討をお願いしたいと思います。 特に、今、東野委員さんがおっしゃいました、今の教育で欠けている道德教育とかそのあたり。 ちょっとよろしくをお願いしたいと思います。 ほかにはございませんか。 では、4番、「こころ豊かな人を育み、いきいきと活躍できるまちづくり」、この内容につきましては、ほかにないようでしたら、次の項目に移らせていただきますけども、よろしいですか。 それでは、5番の、「うるおいある暮らしを守り、人と自然が共生するまちづくり」という部分についての説明をお願いしたいと思います。</p>
<p data-bbox="293 1077 411 1106">事務局員</p>	<p data-bbox="485 1077 1347 1218">それでは、「うるおいある暮らしを守り、人と自然が共生するまちづくり」ということで、こちらの方は、環境との共生というのが方針になっております。</p> <p data-bbox="485 1247 1347 1509">施策の柱は三つあるんですけども、まず、一つ目、自然環境の保全と活用ということで、新市には、緑豊かな山々や加古川水系の恵まれた自然がありますので、こういうものを守っていき、将来に伝えていくため活用を図りながら守っていきたいというような整備に努めていきます。</p> <p data-bbox="485 1538 1347 1628">それから、自然との共生に配慮した開発や公害の防止に向けて取り組みをしていきたいという思いで書いております。</p> <p data-bbox="485 1657 1347 1973">それから、2番目の柱が、循環型社会の構築ということで、人と自然に優しい自立・循環型の地域社会を創造していくためには、ごみの減量化、リサイクル活動などに取り組むとともに、ここでは、新市では、黒田庄町の方で、和牛の産地として適切な生産環境づくりにも資する、牛の排泄物を資源として有効利用するための堆肥を生産する拠点施設ですね、それを建設して行って、人と</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
長谷川委員	<p>自然に優しい循環型農業の推進体制というものを構築していきたいということを記載しております。</p> <p>それから、3番目が環境保全体制の推進ということですが、環境を守っていくためには、その指針となる環境基本計画というものがあるんですけども、これは西脇市においては策定されておるんですけども、それを新市においても策定していきたいということを書いております。</p> <p>それから、環境を守っていくためには、一人一人の啓発や教育というものを、学習というものに取り組んでいって、市民の意識の高揚を図っていって、環境保全に向けた取り組みを進めていきたいという思いを書いております。</p> <p>以上です。</p>
宮崎委員	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>今、説明がございましたけども、これについてはご質問ございませんか。</p>
事務局長補佐	<p>自然環境の保全と活用のところで、2行目なんですけど、「多自然環境を保全、活用するとともに」とあるんですけども、大分自然環境も、確かに山と水には恵まれとんですけども、水質等が悪化の一途をたどっている現状だと思うんですけどね。それで、一番下の、環境保全の体制の推進に関しては、「保全や再生」と入れてあるんですね、この再生という言葉が適切なんかどうかわかりませんが、保全のみならず、清流に戻せるような取り組みも、環境美化ですかね、保全だけやなしに、水質をようしていけるような取り組みも促すような文言を加えたらなと思うんですけど。</p>
小林副委員長	<p>わかりました。ちょっと、そしたら、そういった意味の文言を追加をさせてもらいたいというふうに思います。</p> <p>全体はいいんですけど、二酸化炭素に対する取り組みというのを取り入れて欲しいかなというのが一つあります。</p> <p>それと、私もずっと前から言ってるんですけど、この前テレビ</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>で何かやっていて、ちょっと少し詳しく見てなかったんですけど、公共事業でいろんな開発をすると、その分同じ森林をつくるというような取り組みをテレビでたまたま見てたんですけど、ちょっとあまり詳しく見てなかったもので、よくわからなかったんですけど、要は、開発をすると、必ずそれと同じ面積の森林をつくってほしいということを言ってるんですね。そうでないと、水の循環がぐちゃぐちゃになりますよ。そういうふうなことを環境計画の中にぜひ取り入れていただいてしてほしいのと、もう1点は、やはりちょっとこれどこまで言えるかですけど、先ほど教育のところもありましたけど、環境教育というのを、子供たちに、実施して欲しいと。それでいきますと、先ほどの消費者教育というのも非常に重要ですので、子どもたちにしてほしいんですけど、環境問題では、環境教育ってのを子供たちにぜひ、学校の段階で教えてほしい、というのを思います。希望ですので、これはどこに取り入れてもらったということではないんですが、希望です。</p> <p>以上です。</p>
長谷川委員長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>今の提案に対しまして、また検討をお願いできますか。</p>
事務局長補佐	<p>はい。</p>
長谷川委員長	<p>ほかにはございませんか。</p> <p>ないようですので、この項目につきましては終わらせていただいてもよろしいですか。それでは終わらせていただきます。</p> <p>あと、これに引き続きまして、4の3の推進方策の具体的な取り組みということについてご説明を願いたいと思います。</p>
コンサルタント前田氏	<p>それでは、ここから、私の方で説明させていただきます。</p> <p>4の3の推進方策の具体的取り組みということで、今までの五つの柱が、主にまちづくりの各分野に係るものだと思うんですけども、その中で、幾つか、「市民とともに取り組み」とか、そういった文章を見られたと思います。</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>そういった意味も込めまして、ここからの、地域自治であるとか、それを支える行政の仕組みであるとか、そういったものを変えていくという部分は、全体を推進していく方策であるという位置づけのもとで、ここに別章として立てて、詳しく書いております。</p> <p>20ページと21ページに見開きの図が、22ページにその図が入ってますけども、ここには、なぜそういった地域自治だとか、今盛んに言われているコミュニティの大切さであるとか、また、行財政改革、そういったものが必要なのかと、きょうは、まちづくりというものをやるに当たって、もう今までのやり方ではだめなのではないかというようなことが必死に言われていると思いますが、なぜそういうふうになってきたかということ、また、どういうふうにしていけばいいのかということ、を大きく背景とともに、書かせていただいております。</p> <p>それは、やはり市町村合併の話もそうなんですけれども、国、地方、ともに少子高齢化が非常に進んでいて、そういった公共的サービス、行政サービスというものが非常に大きくなってきている。それを支えるには、やはり財政的な面であるとか、そういったものに不安がある。また、地方分権化というものが出て、地域のことは地域でやっていこうと。そうでないと、もうこれから多様化する住民のニーズに対応しきれないのではないかとといったような動きが、社会の大きな動きだと思います。</p> <p>その中で、じゃあ、行政はどうあるべきか。住民であるとか市民活動といったものはどうあるべきか、といったものを見直さなくてはいけないであろうということが言われています。</p> <p>簡単に言いますと、20ページの下の方に図があると思いますけど、丸で書かれた図ですね。左側に従来の地方行政という丸があります。右側に三つの丸があると思うんですけども、その全体の丸の大きさが広がっていると、これが、要は公共的サービ</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>すがこれからもっとより大きくなっていくだろうということになっています。</p> <p>その中で、行政自身は、もうやること、やれることという部分を、きっちりと自分たちの役割を認識して絞り込みをしていこうと、行政のスリム化を図ろうと。というのは、それ以外の部分というのはどうなっているかということ、よく言われてます民営化、国の施策だとすごくわかりやすいと思うんですけども、今、道路公団ですとか郵政、実はJRもそうでしたし、電話、NTTももうほとんどそうです。そういった民営化、要は、民間でやった方がいいことは民営に任せましょうと。それ以外の部分、さらにそこが、地域、もっと身近なものはどうするか。じゃあ、そこはもう住民の方々、今までの自治会なり、これから、今できているNPOなり、そういった方々にもそういった担い手になってもらいましょうと。そういった、いろんな主体が一緒になって、これからの自治というものをやっていこうじゃないかというようなことをここでは書かせていただいています。</p> <p>一番、図の右側の下の方に、ローカルガバナンスという言葉を使っていると思うんですけども、これガバナンスという言葉は今しきりに使っています。これ、英語の意味にしましたら、統治とかするとかいう意味なんですけども、こういったまちづくりの分野では、ガバメントという昔の、いわゆる政府であるとか官ですね、官僚の官という意味合いで使っています。それと対峙する意味でガバナンスという言葉を使っています。それはもう多様な主体による統治という言葉をよく使うんですけども、みんなで自分の地域をおさめていこうというような考え方としてガバナンスという言葉を使っています。そういった社会像を目指していきましようというのが、この見開きのページで言っていることです。</p> <p>そして、22ページに、ではどういうことをしていくのかという簡単な図が書いてあると思います。こういった民間企業であっ</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>たり、団体であったりとか西脇市という行政体であったり住民組織といったものが、三者が、当然、対等の立場で協力し合いながら、こういったまちづくりをしていこうということを大きなコンセプトとして、新しい西脇市のコンセプトとして進めていこうということで書かせていただいています。</p> <p>その一つとして、柱として「多様な主体による参画と協働の推進」ということで、23ページに施策の柱が書いてあります。</p> <p>一つ目が参画と協働の推進。</p> <p>こちらでは、まず、一段目の方に、現在、西脇市の方で詳しい委員さんの方もよくお話を伺うと思うんですが、参画と協働のガイドラインというものの策定を進めております。そういった、これから、行政と市民、事業者も含めて、こういった協力体制のもとでまちづくりをしていけばいいのかといったようなルールをつくった上で、それに沿った形でまちづくりを進めていきたいと思います。</p> <p>また、そういったまちづくりを進めるに当たって、やはり行政もそうですけれども、市民の方々にもそういった知識であるとか能力であるとか、そういったものを、これからもっとつけていってもら方がいいのではないかと。興味のある方には、特にそういう情報なりを提供していく必要があるのではないかとということがありますので、2段目には、そういったまちづくり学習会などもあって、人材育成を行っていく。</p> <p>3段目には、先ほど、情報公開ということがありましたけども、行政が今まで担ってきた行政にあったまちづくりというものの情報を、もっとより市民の方に公開するとともに、また、市民の方の活動も、また情報としてどんどん受発信ができるようにしていこうというような仕組みづくりをここでは書いてます。</p> <p>2番目の柱としましては、市民自治体制の確立ということで、1番目の段に、地域の課題、身近な課題ですね、今まで自治会で</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>あるとか女性団体、PTA、子ども会といったようないろんな団体が、さまざまな役割を担ってきたと思うんですけども、そういったものを連携させたり、より強化する。また、そういったものを統合するような組織なり、そういったグループを立ち上げたりして、そういった地域の身近な課題を解決するような自治という仕組みをしっかりとつくっていくべきではないかということを書いています。</p> <p>また、その2段目には、地域だけじゃなくて、もっと社会的な広域的なサービスといいますか、活動を行っているボランティア団体であるとかNPO団体であるとか、そういったものの育成も、これからどんどん必要になっていくのではないかということで、そういった活動支援なり組織の育成を図ろうということを書いています。</p> <p>そして、それらの活動を、もっとより促進させるツールといいますか、道具としまして、いろんな地域で導入、検討をしていくものですが、地域通貨というものを一度考えてみたらどうかということも書かせていただいています。地域通貨というのは、要は支え合い、助け合いの約束手形みたいなようなものなので、そういったものがあるからこそ、そういう活動が促進されるのではないかということです。</p> <p>そして、最後には、そういった活動をバックアップする財源であるとか、条例ですね、市の法的根拠という、約束事というようなものをついたらどうかといったことだったり、また、県の、社会事業面から、県民交流広場事業、県の新事業のメニューとしてあるので、そういったものも活用していったらどうかといったことを具体化させていただいています。</p> <p>24ページに、この方針の主要事業にも書いてあるんですが、ここでは、主に参画と協働のガイドライン、まだ策定段階ですけども、途中段階ですけども、その中で提案されていたりする取り</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
長谷川委員長	<p>組みを、ある程度大きなところの方針ですね、書いてある事業の同じような感じで、大きくまとめて事業名として書いているんですけども、そういったものを書かせていただいております。</p> <p>ここまでで。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>基本方針を支える推進方策という中で非常にいろいろなものありますけども、説明を受けました。</p> <p>これについてのわかりにくい点、あるいは何かございましたら、お受けしたいと思いますんですけども。</p>
小林副委員長	<p>この前、この図についてちょっといろいろ提案させていただき、すっきりしたかなというふうに思っております。</p> <p>ただ、これは、こだわりがあるんでしょうか、20ページ、21ページはすべて住民となってまして、例えば、図なんかでは市民となっておったり、22ページ以降は市民となっているんですけど、20、21はすべて住民になっておりますので、ちょっとどっちかに統一していただいたら。</p>
長谷川委員長	<p>ほかはきれいにまとまっているかなというふうに思います。</p> <p>そういう形で、ひとつお願いしたいと思います。</p> <p>ほかにはございませんか。</p>
宮崎委員	<p>24ページの、主要事業のところで、市民自治体制の確立の上から2番目の、コミュニティ施設整備事業とあるんですが、これ何を指されとんですか。</p>
事務局員	<p>一応、黒田庄町の方ですね、石原交流会館というものが整備予定として挙げられているのと、子育て支援機能の複合施設の中で、子育て機能だけでなく、コミュニティ施設を、そういった施設整備をして、機能を持つ施設整備をしていきたいということで、その二つをコミュニティ施設整備事業ということで、取りまとめさせていただきました。</p>
宮崎委員	<p>そしたら、これ、大分前に確認さしてもうたときに、黒田庄町</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
事務局員	<p>は、地域総合事務所として役場が残りますね。各、現在の西脇市の地区制の確立をしていこうやないかということで、合意を得られたと思うんです。その拠点となる場所の整備ではないんですね。</p> <p>地域の、地域振興的なものに限定して、その施設を限定してのことではありません。その地域の拠点施設いうのを、小委員会の中でもいろいろ議論いただいたんですけども、そういうこと踏まえて、ちょっとこの計画の段階では、確定させていくことが難しいという専門部会での意見もあったので、決して否定ではないですよ、それも踏まえて、いろんなものの中で新しい自治体制を検討していきたい。その中で、組織等も検討していった中で、そういう施設も必要であれば、そういうことを出していきたいというニュアンスは含んでおります。</p>
宮崎委員	<p>前に確認させてもらったときに、既存の施設があるので、それを利用しながらしたとしたら、野村地区だけがないかない程度の中で、その既存施設を利用した上で地区制の確立をして、体制づくりをしていくような方向になつとるとこっち側は、一応理解しとったんですけどもね。</p>
事務局員	<p>多分、あのとき、局長が言うておったと思うんですが、芳田の施設のことを言うたと思うんですけど、隣保館のことで、隣保館にも、単なる人権教育関係だけの施設じゃなくて、コミュニティ機能を併設していこうということで、芳田の方の隣保館でしたら、芳田ふれあいの里と改称されて、そういう機能をつけていこうということで進んでいるんですけども、そこに、地区制の中で、どういう職員の配置なり、住民サービスの発行までを想定して、それを限定してしまって、この中に組み込んでおるということじゃなくして、もちろん、施設整備を進めていく上でその地区制を確立していきたいということを含んでおるんですけどね、ただ、言いきってしまっはいいないんですけども。</p>
宮崎委員	<p>わかりました。それで、今までの子育て、先ほどの、きょう、</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
事務局員	<p>最初からしとる議案にしたとしても、今の参画と協働の推進とか、この辺の内容にしたとしても、地域格差が、絶対これ、新市になったときに出てはならないと思うんですね。1カ所、西脇の拠点市役所から、もっと全市民の方に、各地域の方に流したとしても、やはり意識のある方はそれに参画されるけども、やっぱり離れた地域の方になったら、なかなかそれが来たくても来られへんとか、統一されにくいと思うんですね。ですから、今までのやつをものすごいええ内容で考えていただいとるんですけども、地区制の確立なり、その拠点になるものがないと、これは、絵にかいたもちになる可能性が大かなと思って懸念しとるんですね。横のつながりをいくらつくろうとしても、市から発信はしてるけども、地域になったときにそれが行き渡らないし、どうしていいかわからないというのが実情になるのではないかと思うんです。</p> <p>ですから、先ほどの児童館の設立という具体的な部分までどうかとは言いませんけども、設立とまで具体的なことになつとんのに、なんで一番肝心な地区制の確立に伴う拠点なり、その辺が明確化されてないのかなとちょっと思うんですけど。</p> <p>施設の整備については、さっきも言いました、合併特例債を想定する上では、計画の上では位置づけておかないと、特例債の適用が受けられないという要件があるんです。できるだけ、施設の整備で特例債を想定するものについては、より具体的に書いておく必要がある。その中で、地域制の確立ということで、今まで小委員会の意見もうてきたということで、専門部会にも伝えておるんですけども、この中で、施設に職員を置いていくということまでを限定していくのは、はっきり言いましたらこの中で位置づけていくことは難しいと。その中で、そういうのを検討していくのは、参画と協働のガイドラインつくっていく上でも、そういうことを検討していかなあかんということで、小委員会の思いというのは伝えておりますので、ちょっと、全部まで行き着くところまでは</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
宮崎委員	<p>確定されていないんですけども、そういうことを踏まえてしていきたいということで、ちょっとぼやかしてあるような形に見えるかもしれませんが、可能性を広げておきたいという意味でこういう書き方になっておるんですけども。</p>
宮崎委員	<p>その方向は変わらずに、前向きに検討していただいとるということですね。</p>
事務局員	<p>担当の専門部会等でも、そういう方向は大事であるということで検討を進めておりますので、ただ、短い時間の中で、そこまで全部、この施設にこうするということまで限定してしまうのは難しいというのがありますので、こういう今の時代の流れから見て、こういうことは当然必要になってくるであろうというような書き方で、考え方としてこういう表現にしておるんですけども。</p>
宮崎委員	<p>はい、わかりました。先ほども言いましたけど、ものすごいええ内容でまとまっとると思いますので、これを実現化させようとしたら、必ずそういうものが必要になると、村単位でいったとしたら、どうしても極端な数になりますので、地区として、この機会に確立させていかなこれが実現できへんねやないかなと思いますので、よろしくお願いします。</p>
コンサルタント前田氏	<p>今のお話も、やっぱり自分たちの自治というか、地区で、自分たちが何ができるのかということ、もう一度多分、恐らく、今やってることなり、これからやっていった方がいいこと、やりたいことなりを整理して、やっぱり先ほどから言ってるように協働ですから、じゃあ、行政はこれをやってください、自分たちはここまではやるからといったような協力関係を築いていく。そこが決まった段階で、じゃあ、それをやるためには、地区の拠点としてこれだけの機能が必要だとか、これだけの施設が必要だと、そういったお話になってくると思いますので。それで、既存施設が、その地域の施設でそれができるのかという話になって、使えるところだけちょっと変えればいいのか、全然もう変えなくて、これ</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
宮崎委員	<p>で最後までいくのか、全然ないから、やっぱり設立から、新しくつくればいいというお話に、もうおそらくこの流れでいけばなっていくし、必然となっていくような話だと思うんで、そういった段階踏んで、しっかりと仕組みをつくりながら、そういった施設の検討を進めていければいいのではないかなと私の方は考えてるんです。</p> <p>僕が言うのは、施設がある、ない関係なしに、地区の確立ですか。それがなくならへんのかなと思います。施設のあるなし関係なしに。</p>
長谷川委員長	<p>こういう意見、十分伝えていただいて、取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>それでは、ほかにはございませんか。</p>
東野委員	<p>21ページで、「このように行政は、これまで独占してきた」という、独占という言葉、全て独占に当てはまるのかどうか、独占という言葉を使えるのかどうか。やはり民の力を発揮したものがあつたし、思いとして独占という言葉が適切なのかと思いますけど。</p>
コンサルタント前田氏	<p>そうですね。これだと、今までの日本はすごい福祉国家であつたというか、ここまでのサービスは、国というか、行政で管理やらなければいけないんだという部分が非常に強かつたんですね、制度的に。そういった意味もあつて、先ほど言ったような、電話がそうだし、鉄道がそうだしというふうな、郵便もそうだしということだつたと思うんですね。そういったものを、ああいう民営化というのは、いわば規制緩和というのがあるんですね。そこに、民間の参入を許容するとか、これからは民間企業と競争しながらやってくださいよということですので、今まではそれはさせなかつた、したくてもできなかつたということが実はあつたので、そういった意味では、独占してたものを解放するというニュアンスになるということになるかなと思うんですけどね。</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
長谷川委員長	<p>独占と言うと、ちょっと強い、言い方にはなるかなとは思いますが、ちょっと表現は後で考えさせていただきます。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>ほかにありませんか。</p> <p>なければ、この項目につきましては終わらせていただきたいと思えます。</p> <p>次ですけども、2番目の、「時代に対応した行財政運営の確立」という項目についての説明をお願いします。</p>
コンサルタント前田氏	<p>それでは、続きまして、説明したいと思います。先ほどの話の続きだと、では、住民はそれだけやるんだから、じゃ行政は何をするのかという今度は話になると思うんですね。もっとよりお金も限られてくる。財源も限られてくると。じゃあ、その中で、最大限のいい公共サービスを提供していくためにはどうすればいいかということで、この1番目の行政体制の整備ということで挙げております。</p> <p>ここで、この考え方の一つとして、26ページの方を一度見ていただくと、主要事業の一番上に、NPM導入推進事業というのがあると思うんですね。このNPMという考え方というものが、これからの行政運営に必要となるんじゃないかと。NPMは何かというのが、注釈にも書いてあるんですけども、実は、皆さんのお手元にも、1枚ペラで、別で、きょう、資料をお配りさせていただいたんですけども、ちょっと時間もあれなもので、後で読んでいただくという、簡単に説明させていただきますけれども、NPMといのは、ニューパブリックマネジメント、新しい公共の運営の仕方というか、経営の仕方というその略でNPMという考え方です。欧米諸国では、比較的、こういった考え方のもとに公共が、行政が運営をしているんですけども、ただ簡単に言うと何かというと、もう少し、民間企業が普通にお客様に、いい商品をより安く、よりいい商品を提供するときに、どういう経営手法をと</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>っているかというものももう少し参考に見てみたらどうかというのがもともと根本の議論です。</p> <p>それで、それをするためには、やっぱり職員の意識改革、5番のところの の冊子に書いてあると思うんですけども、意識改革だったり、庁内の今の縦割り仕組みをもうちょっと柔軟な組織体制にしましょうということだったり、3番目の、最近、行政評価という言葉もよく聞くかと思うんですけども、そういったちゃんと目標を立てて、それに対して、どこまでいったかということをしかりやっつけていこうと。結果を公表して評価をしていこうというような取り組みですとか、4番目に、先ほど、市場システム、要は、民間でできることは民間で、住民ができることは住民で、そういった取り組みにもどんどん取り入れていこうであるとか、最後に、総合計画つくってから、そういったものも評価するような、総合計画のあり方自体も考えていこうと。今までみたいにすべてやりますと書いてあるような総合計画ではいけないではないかと。そういったことを含めて、新しい考え方というものを行政の中に取り入れていかないと、これからはやっていけないんじゃないかというような、危機感というか問題意識とともに文章書いています。</p> <p>25ページに戻っていただきまして、じゃあ、具体的にはどういうことをやっていくのかというと、主にこういったような内容が書かれているんですけども、一番上の段落では、限られた財源で最大限の効果を。すべてに対して同じものをやろうとするんじゃないくて、重点的に本当にやらなくてはいけないことというのをしかり見きわめて、そこに力を注いでいこうということですね。</p> <p>2番目には、行政評価システムの有効性を書いてあります。実は、西脇市も黒田庄町も、事業評価システムが導入されています。そういったものを、まだ試行であるとか導入段階なんで、そういったものをより有効に回していくようなシステム、それを高めて</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
<p>長谷川委員長</p> <p>小林副委員長</p>	<p>いく、強化していくようなことをしていかななくてはいけないだろうということです。</p> <p>そして、3番目の段落は、先ほどから言っている、市民ができることは市民で、民間企業ができることは民間企業でというような協働の体制というものをつくりましょうということです。</p> <p>そして、4番目の段落に関しては、組織体制ですね。縦割りじゃなくて、もうちょっと柔軟な組織体制、意思決定なり事務の執行ができるような柔軟な組織体制にしていきたいと思いますというようなことです。</p> <p>そして、最後には、先ほど、住民の方でもありましたけども、積極的な、透明性の高い行政運営、情報公開をどんどん進めていこうというような内容になっています。</p> <p>2番目の柱としまして、財政運営の効率化というものがあると思うんですけども、これは、上のこういった行政の体制をつくるに当たって、お金の方をしっかりと管理して、長期的視点に立って、コスト意識を持って、むだ遣いをしないように財政運営をしましょうというようなことが書いてあります。</p> <p>3番目に、新しい制度によるまちづくりとあるんですけども、先ほど、経済の活力あるまちづくりの方でもあると思うんですけども、構造改革特区であるとか地域再生計画というような、やはり地域経済に寄与するような国の特区政策、支援策が今たくさん出ています。そういったものを積極的に活用して、地域の独自性ある行政運営の展開をしていこうということを書かせていただいております。</p> <p>以上です。</p> <p>ありがとうございました。ただいま、説明いただきましたけども、ご質問、何かございませんか。</p> <p>私も、早くから、この行政事業評価システム、言っております、西脇市の前の総合計画でも一応取り入れてもらってるんです</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
長谷川委員長	<p>けども、一步前進してるということで安心してはるんですけど、ぜひ、次にも市民の評価参画システム。これは非常にいいことだと思いますので、自分だけでやっていただいたんではだめです。</p> <p>もう1点は、予算については、できれば、三重県型の予算方式をとっていただきたいということで、硬直した予算消化ということじゃなくて、そういうことを盛んに言ってるんですけども、なかなかそれは難しいということでできてませんですけど、ぜひそういう方向に持って行ってほしいということで、全体の方向性としてはいい方向性だと思います。賛成です。</p>
事務局長補佐	<p>ほかにはどなたか、発言、ご質問ございますか。</p> <p>ないようでしたら、次、時間が9時回っておるんですけども、次の議題に入ります。もうしばらく、ひとつがんばっていただきたいと思います。</p> <p>それでは、ちょっと説明の方お願いしたいと思います。</p> <p>それでは、説明いたします。</p> <p>資料の方、27ページのところをごらんいただきたいと思ます。</p> <p>それと、もう1点、別紙資料ということで、A3の方の資料をお配りしておると思ます。まず、その3の資料の、申しわけございません、訂正をちょっとお願いしたいと思ます。</p> <p>下から2行目、生活排水処理施設という欄がございます。このところは、西脇市の施設数が「ゼロ」というふうになっておるかと思うんですけども、それ間違いでございまして、「8」ということに訂正をお願いしたいと思ます。したがって、合計13ということで訂正をお願いいたします。</p> <p>そしたら、27ページの方をもう一度見ていただきたいと思ます。公共的施設の適正配置と統合整備ということでございます。</p> <p>ここには、第5章ということで、1ページに取りまとめをしております。この基本的な考え方につきましては、担当の専門部</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
長谷川委員長	<p>会でも検討をしていただきました。</p> <p>一つ目には、住民の生活に急激な変化あるいは利便性、そういったものを考慮する必要があるということと、二つ目には、地域の特性、また、地域のバランスを考慮するということと、財政事情、そういったものも考慮する必要があるということと、最後に、組織また機構等の詳細が、現時点では未確定な段階でございます。そういったことから、また、先進地の事例からも考慮いたしまして、具体的には、このところでは、新市になってから、このような施設の適正配置あるいは統合整備について考えていくべきではないかというような結論になりました。</p> <p>そういったことで、ただいま申し上げました4点のことを踏まえまして、施設ごとの適正配置あるいは統合整備の方針につきまして簡単に整理をしております。</p> <p>また、合併に伴いまして、支所となります黒田庄町役場の庁舎につきましては、協議会でも確認されたとおりでございます、当分の間、支所とするという内容を受けまして、このような表現にさせていただいております。</p> <p>このような形で、新市まちづくり計画に盛り込みたいというふうに考えております。</p> <p>非常に簡単ですけども、公共的施設の適正配置と統合整備のところの説明を終わらせていただきます。</p>
宮崎委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>ただいま説明が終わりましたけども、この件につきまして、ご質問がございましたらお受けしたいと思うんですけども。</p>
長谷川委員長	<p>すみません。一つだけよろしですか。</p> <p>この件ではないんですけどもよろしいですか。全体的なことで。</p>
宮崎委員	<p>結構ですよ。</p> <p>一応一通り全部これで終わったと思うんですけども、ちょっと気になるのは、ある程度全体が入っていいようにあるんですけど、</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>高齢者対策に関しては、福祉のところではしか入れてないんですが、高齢者対策に関して、もう少し何か必要なんじゃないかと思ってしまったんですけども。</p>
事務局員	<p>高齢社会。</p>
宮崎委員	<p>高齢化社会に対する取り組みに対して、それが、福祉面ではしか高齢者に対することがなかったんです。高齢化社会に対する取り組みとして何か足りないんじゃないかなと思ってしまったんですけど。</p>
事務局員	<p>例えばどういう取り組みについて、福祉面以外でいいましたら。</p>
宮崎委員	<p>健康な高齢者に対しての、老いを楽しむような生活環境とかね、そういう、高齢者に対しての何らかの取り組みに対し、位置づけいいますか、訴えるようなものがちょっと必要やないかと思うんですが。健康なお年寄りの方に関してですね。</p>
事務局員	<p>一応、6ページの高齢者福祉の充実の中でも、生きがいを持って暮らせる長寿社会の構築を目指している部分では捉えとるつもりなんですけども、あとのところにつきましては、決して言いわけではないですけども、全市民が生き生きと暮らすとか、定住基盤の整備にしましても、教育の分野にしましても、特に高齢者だけというのではとらえずに、全体的にそういう施策の展開を図っていこうと。それで福祉の面では、特に高齢者福祉については、元気な高齢者と介護が必要な高齢者、どちらにもそういう施策展開を図っていくよ、という部分は、一番福祉に近い部分になりますので、ここで拾ってっているという考え方なんですけども。</p> <p>定住の中で、特に高齢者に特化してとかいきましたら、その部分では、また若年層についても特化したことを書かなければいけないとかいうふうになってくる可能性があるんで、全部、市民一人ひとりがというような表現でとらえとるんですけども、それで全部拾っておるような考え方なんですけども。</p>
コンサルタント前田氏	<p>少しよろしいですか。あと、9ページの方ですね、公共交通の</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>充実という部分に実は高齢者の文言、文言だけじゃないかと言われるかもしれませんが、公共交通を充実させるということは、やはり交通弱者といいますか、自分でマイカーが使えない方ですとか、移動がしにくい方に対する公共交通の充実であるという側面が強いものですので、こういった文言、そこに、はっきりと高齢者のためにということは強くは書いてないんですけども、こういった施策でありますとか、教育のところ、生涯学習といった、生涯学習という言葉自体は実はもともとあったんです、これは。だから、みなさんわかると思うんですが。生涯学習と言われ始めたのは、最初は高齢者に対して、リタイアした後の余暇時間をどう過ごすかと、より豊かな時間を過ごそうというところから生涯学習という考え方自体が出てきて、そういった部分で、こういったものがしっかり柱として挙げられているというのは、社会に対応した施策の展開の一つであると、こういうことも考えられると思いますので、そういったところで、あと、また、体制の話も、これいつも、合併の背景の際に、高齢化で、そういった方々を、社会的に税金を払う方が少なくなる中で、市全体をどうやっていくかという話になるわけですけど、社会構造ですね、そういうものの変化に対応する施策の展開には、いくらかなっていきとは思うんですけども。</p>
宮崎委員	<p>高齢化社会になるのはもう割合がね、極端ですから、高齢者とと言われる人が生きがいを見出せるような、そういう方向性も。</p>
長谷川委員長	<p>今のコンサルさんの説明で理解していただけましたか。</p>
宮崎委員	<p>はい。</p>
長谷川委員長	<p>ほかに、この3番に関して、公共的施設の統合整備と適正配置の内容についてはご質問ございませんか。</p> <p>ないようでしたら、本日の議題としては終わるんですけども、何か、事務局の方から一つあるということなんで。</p>
事務局員	<p>そしたら、少しだけお時間いただきたいと思います。</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>前回、説明をさせていただきました財政状況の関係ですが、前回、資料として提出したものとほとんど変わりはありませんけれども、ただ、若干、あれから、いろんな投資的な経費とかそういうようなものも動いておりまして、それを6月24日、きょう現在でまとめ上げた資料が、今お手元に配付させていただいた資料となっております。</p> <p>今回は、前回、7ページの方ですね、新市財政シミュレーション、それを回収をさせていただいたんですけども、これにつきましても、今度の6月30日の協議会において、これと同じものを提出いたしまして、協議会の委員会さん皆さんに共通認識を持っていただくというふうにしております。また、前回回収させていただきまして、まず、この小委員会の皆さんに見ていただきまして、何かご質問とかありましたら、この場で言っていただきたいと思えますし、また、協議会、6月30日の日に説明しました際に質問していただいても結構ですし、また一度、ゆっくり目を通していただけたらなと思えます。</p> <p>若干変わっとるのは6ページで、その他委員等のところで、委員報酬695万3,000円、これを減額しております。これを合併効果としてちょっと見込んでおります。大変暫定的ですが、見込ませていただきました。</p> <p>それと、7ページの、新市財政シミュレーション、この中で、委託料とか普通建設事業、その辺を上げたりしたりですね、庁内の調整の中で若干数字をさわらせていただきました。</p> <p>これにつきまして、また詳しい説明をいたしますと、また30日にも重複するようなことになると思えますので、よく見ていただいて、6月30日、当日、またお持ち願いたいと思えます。</p> <p>あすにでも、他の委員さんのところの手元に届くような形で調整をしたいと思っております。</p> <p>もし何でしたら、今ご質問をお受けしますが、時間の方も来て</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
長谷川委員長	<p>いるようなんですが、委員長にお任せいたします。</p> <p>それでは、今、ご説明を受けましたけども、今の説明のように、6月30日、次回の黒田庄町における合併協の席上でもこれを説明なさるそうです。したがって、それまでに目を通していただいて、もし質問事項ありましたら、その時でもという形で。きょうは、時間の都合で、ちょっとこれ渡すだけで。</p> <p>それでは、本日の予定事項はすべて終了いたしました。</p> <p>非常に長時間にわたりまして、委員の皆様からはさまざまな意見をいただいて、大変有意義な議論ができたように思います。どうもありがとうございます。</p> <p>さて、計画の策定もいよいよ大詰めに入ってきましたし、次回の委員会では、これまで策定してまいりました計画素案の全体について協議していきたいと思いますので、ひとつよろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>次回につきましては、先ほど日を決めましたけれども、7月の21日、同じ6時半という形で開催したいと思いますので、ひとつ調整をしていただきまして、出席の方お願ひしたいと思います。</p> <p>本日は、非常に長時間にわたりまして大変ありがとうございます。</p> <p>これをもちまして、第7回終らせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">（ 閉 会 午後9時33分 ）</p>